

令和6年度 教科用図書区民意見結果 (令和7年度～10年度使用・中学校用)

1 区民アンケート件数 154件

2 教科書展示会実施概要

- 板橋区教科書センター
令和6年6月4日(火)～6月27日(木)
- 成増アートギャラリー
令和6年6月4日(火)～6月27日(木)
※6月17日(月)を除く
- 高島平図書館
令和6年6月10日(月)～6月14日(金)

◆ 入場者数 合計 260人

〔会場別内訳〕

板橋区教科書センター	116人
成増アートギャラリー	117人
高島平図書館	27人

令和6年 7月

中学校の教科用図書についてのアンケート結果まとめ

1

教科（国語） 発行者（全社）

ご意見・ご感想

国語はやはり光村図書が1番良いと思いました。伊坂幸太郎さんの作品もあって、もっと国語が好きになりそうです。内容がとっても魅力的で、思わず読んでしまいました。なぜ板橋区では採用されないのでしょうか。

2

教科（国語） 発行者（教育出版）

内容について

様々な分野をバランスよく扱っていると思う。物語作品では、大人になってから読んでも感銘を受けるものが多く収録されている。特に1年生の80ページからのSDGsの教材がよい。

構成・分量について

分量の多さはどの会社も大体同じ。

使用上の便宜について

紙面がうるさくなく、非常に見やすいように感じる。文字と文字のバランスもつまっていない。

ご意見・ご感想

板橋区がSDGs未来都市に選定され、何年か経ちます。

これからの未来を担う子どもたちにとって、持続可能な社会を考えることは私たち世代の責任でもあり、とても大切だと思います。SDGsについては教育出版の国語や公民、学研の道徳などで大きく取り扱いがあり目を引きました。教育出版国語1年80ページからは、SDGsについて大々的に扱っており、なかなか珍しくてよいのではないかと思います。

3

教科（国語）

内容について

三省堂のが良かった。

構成・分量について

前年と変わらずです

ご意見・ご感想

身近な場所で教科書が比較できて良かったです。

4

教科（ 国語 ）

内容について

国語の本を読んだが自分の時代(S52 生)の時とは全く変わっていて衝撃をうけた。論理的に「話す」方法や物事の因果関係も考える方法がのっけていておどろいた。

構成・分量について

本が大きく、見やすく、だが少しうすいと思った。

標記・表現について

字が大きくなっていて、絵本のような印象をうけた。

表現については特に問題を感じなかった。

使用上の便宜について

やや大きいので、持って帰るのは大変なのかな?でも今は全て学校のロッカーに入れておくのかしら?と思った。

5

教科（ 国語 ） 発行者（ 教育出版 ）

使用上の便宜について

各単元度に QR コードがふってあるが、他出版社と違い何について調べられるか書いていないので分かりにくい。

6

教科（ 国語 ） 発行者（ 4 社全部 ）

ご意見・ご感想

国語の教科書を見ていたのですが、4 社 1 年 2 年 3 年とすべてに目を通すのは、大変で頭もいたくなります。採択の時だけでなく、いつでも見られるようにしていただきたいと思っています。教師時代(私は退職した中学の国語の教師ですが)ほかの教科書も参考にしたいとたびたび思ったものです。とわいえ、今日主にヘルマン・ヘッセの「少年の目の思い出」について、調べたいと思い来館したのですが、大変参考になりました。ありがとうございました。

7

教科（ 国語（光村図書）新しい国語（東京書籍） ）

内容について

教科書の冒頭で、教材に合わせて学習計画が立てられるようになっているので、子どもたちも習得までの道筋が見えてよいと思う。

使用上の便宜について

教科書が重い。年々重くなっているような気がする。どうにかならないものか。

ご意見・ご感想

令和7年の教科書では、表紙や挿絵のイラストがコミックイラストのような絵になっている。日本のアニメ・コミックカルチャーは世界的に人気で、子どもたちにとって親しみのある絵柄だと思う。子どもたちが勉強に関心を待つとっかかりとして、教科書に使われるイラストを、人気のジャンルの絵柄にすることは、いい案だと思う。

8

教科（ 新しい書写 ） 発行者（ 東京書籍 ）

内容について

広いはんいで面白いアートにも実用にも使える

構成・分量について

良好

標記・表現について

良好

9

教科（ 歴史 ） 発行者（ 東京書籍 ）

内容について

未だに南京事件のウソの記述あり、P228。まるで日本が悪かったかのような記述 P235。

<学び舎>論外

<自由社>日本の子供に学ばせたい内容でした。

<令和書籍>南京事件の簡書？よくわからない

ご意見・ご感想

今の日本の状況を鑑み、なぜ日本に誇りがもてない日本人が多いのか、なぜ学校に行きたくない子供たちが多いのか、なぜ自殺をしてしまう若物が増えたのかがずっと気になっていて歴史

を調べ始めました。この教科書を見たら一目瞭然 日本成り立ちから、なぜ日本だけ、他の国と比べ2684年も続く、世界で類を見ない国として続いているのか、何度となくくり返される国難を乗り越える知恵があったのか、誇れる事柄や異人がいたにも関わらず、自信を無くすような事がらが強調されていて今では真実がだいぶわかってきたにも関わらず、そのまま間違った記載も多く、これを学校で学んだ（真面目に取り組んだ子ほど）子供たちは、日本人は悪かったんだなと思うだろう。

親や祖父母を殺す子供が育つだろう

公民ではSDGsのマークも多く使われている物が何冊もあった。日本独自のSDGsを古くからずっと続けてきた日本人が、世界のグローバル化に後ろきようで格こうが悪くてなさない。

世界は今頃SDGsを取り上げているが、日本は、昔からやっていたんだよ、と胸をはって教えられないほど、教員の質も下がっているのか？板橋郷土資料館へ行き、参考にしてほしい。

戦後、80年近く経つ現在、子供たちの育つ環境も大きく変化している。日本人としての誇りを持ち、2000年以上、残る唯一の国として、先人に感謝の気持ちを忘れずにしっかりと教育を立ち直せば、我が国に生まれたことに自信を持った子供たちに育つのではないのでしょうか？

先生たちには、子供たちの未来を思い決めていただきたいと切に願います。

10

教科（新しい歴史） 発行者（自由社）

内容について

古代から現代までの歴史

ご意見・ご感想

古代の歴史 神々から始まる表記が、納得できない 日本国憲法の表記が納得できない。歴代天皇系図はいらないと思います

11

教科（中学社会） 発行者（自由社）

内容について

新しい歴史教科書 新しい公民教科書

ご意見・ご感想

「歴史」第二次大戦の前後の部分は、いかに日本が追いつめられて戦争をはじめたかの記述が多く、戦場になった東南アジア、中国、朝鮮、そして沖縄の人々の苦難の記述が少い。

「公民」→全体的に日本を肯定する文章が多く、批判的な意見がない。たとえば「国旗と国歌」の章がそのように思われる。「日本と世界の安全」で、核兵器廃絶についてとりあげているのは良いと思うが、「原発」についてはなかったように思う。将来のためにどうあるべきか子供たちか学ぶべきことだと思う。

※原則、原文そのままに記載しています。

12

教科（ 歴史 ） 発行者（ 自由社 ）

ご意見・ご感想

岩宿遺跡についてはこの本だけでした

13

教科（ 社会歴史 ）

内容について

（令和書籍）○日本列島の誕生を「国 生み神話」から始めるのは如何なものか。また、神話を元にしたイラストを原始時代の最初のページに出している。誤った歴史認識を生徒に与えてしまう。非科学的な内容のものは生徒に与えられない。

○「注」が書かれている位置が分りにくい。生徒は読まないだろう。学ぶ側に立った編集がなされていない。

○500 ページに近い厚さで、縦書き。中学生は扱いづらいだろう。教科書としてなじまない。

（山川出版社）○「歴史とは現在と過去との対話である」から始まるのは、生徒の興味関心を引くことになる。良い出発だと思う。

○図版や写真等が大きくて、見やすくわかりやすい。これを参考にしながら、生徒間で話し合いを中心として授業も考えられ、面白い。

14

教科（ 歴史 ） 発行者（ 育鵬社 ）

内容について

全体的に文字より図や写真が多めで興味を引く内容になっていると思う

ご意見・ご感想

つい最近のことが歴史の教科書でクローズアップされているのがおもしろかった。感染症の歴史がよかった。

15

教科（ 歴史 ）

内容について

学び舎:P224-225 南京事件の記載について削除を求めます。まるで真実のように教えることに賛成できません。

構成・分量について

自由社:コラムが有効的に活用され、生徒が自分で考え、興味を持てるように工夫がされていて良い印象を受けました。

標記・表現について

自由社:我が国の伝統と歴史に自信と誇りを持てるような記載が各所にあり、日本の素晴らしさを学べる教材だと考えます。

使用上の便宜について

どれもカラフルで紙質も良かったです。

ご意見・ご感想

「日本は悪かった」と教えられてきた世代です。このような認識を植えつけられ、我が国を誇りに思えないことで、自分に自身が持てず、学生時代をすごしてきました。これからの子供たちには、日本の素晴らしい文化と先人達がきづけあげてきた歴史を学び、自分が日本に生まれてきて良かったという愛国心の育成に、「自由社」の教科書を多くの学校で採択していただきたいです。

16

教科（ 歴史 ） 発行者（ 自由社、教育出版 ）

内容について

今の時代に合っているのが自由社、教育出版は古い
三内丸山遺跡は世界的にも大きな発見で縄文時代は見直されるべき！

標記・表現について

自由社の

表紙の井上毅、三内丸山道跡、北斎のように大事な写真をのせていてメッセージ性が伝わりやすい。教育出版は何も感じない

ご意見・ご感想

7つの出版社を見ましたが

自由社がまずウソである南京事件を書かかない所が評価すべき!!

全体的にメッセージ性あり歴史に興味をもてる作りである。日本人でよかったと思う。

17

教科（ 歴史 ）

内容について

学び舎―南京事件について数々の証言や史実でウソであった事が証明されているのに日本兵がひどい事をしたと記述があり、明らかにおかしい

標記・表現について

アメリカの占領下で行なわれた東京裁判の不当性を記述している教科書が少ない

ご意見・ご感想

日本は独自と文化を持った奴隷がいない社会で世界に誇れる素晴らしい国だという事実をもっと強調し、子供達が自虐史観でなく自国を愛する大人になるよう教育してほしい

第2次世界大戦では日本は侵略を目的にした戦争ではなくアジアを植民地から開放し大東亜共栄圏を建設を唱えアジアの民族だけで栄えていこうとした事・アメリカやヨーロッパなどエネルギーの供給などを止められた自衛のための戦争だったという事をもっと強調すべきだと思う
縄文時代、青森に三内丸山遺跡が発見され巨大な集落跡の技術など世界に誇れる・戦いのない平和な時代か1万年も続いた事をどの教科書も記述すべきだと思う

18

教科（ 歴史 ） 発行者（ 令和書籍 ）

ご意見・ご感想

Youtube やXで知り興味を持ちました。中学校の教科書として使用される可能性は低いと思いますが、一校につき一冊でも置かれ、愛国心を持つ竹田さんの思いを一人でも多くの子供達に知ってもらえたらと思います。

19

教科（ 社会 ） 発行者（ 令和書籍 ）

内容について

読み物としておもしろい

構成・分量について

ちょうどよい

標記・表現について

とくになし

使用上の便宜について

とくになし

※原則、原文そのままに記載しています。

ご意見・ご感想
ぜひ採択してほしい

20

教科（ 国史 ） 発行者（ 令和書籍 ）

内容について
内容は良

構成・分量について
やゝ多い

標記・表現について
適切

使用上の便宜について
特になし

ご意見・ご感想
各国の「史書はそれを読むことでその国をより理解し好きになるように導くべきで我が国もそうあるべきである。
いままでが不適切であった

21

教科（ 社会、歴史 ） 発行者（ 自由社 ）

内容について
大東亜戦争に対する総合的・網羅的な説明がよい、左寄りの思想を植えつけることなく、日ソ不可侵条約を一方的に破り、今だ北方領土を不法占拠している事実を学々と事実として、記述している姿勢がよい。
戦勝国のWGIPから、未来の日本人を守ってほしい。

22

教科（ 歴史 ） 発行者（ 自由社 ）

内容について
戦争のことが者と比べ分量質共に良くなってる

構成・分量について

調度良い

標記・表現について

写真をもう少し増やした方が良いのでは

ご意見・ご感想

ワンポイントに差し絵、イラストをもっと入れても良い

23

教科（ 歴史 ） 発行者（ 自由社 ）

内容について

通州事件や、古代中生、任那、天皇について中国の易姓革命などに至る表記。すごい(寿姓らしい)隣国圧力や戦後の自虐史説をゆっくり丁寧に書いている

構成・分量について

中学生に対し後半の近代を中心に教える手もあるのかな。多い。日本人としての戦後、戦前帝国主義という欧米にあがらって、アジアを自由に導いた日本人の立ち位置、そしてほこりを伝えられるとなおいい

使用上の便宜について

教える教員が、しっかり読み込み大切なこと=日本人が日本という美しい国の歴史を知る
そのあたり前のことをよく考え日本の将来を任う若い人に丁寧に、そして時に日本の魂的、心、よき日本人の心を残す努力をしてほしい。

・・・高校受験とは別料で、伝えるべき魂を伝えてほしいです。

ご意見・ご感想

追記：帝国書籍は10年前から何も進歩しないのですね。残念。

東京書籍については、もう隣国のいうがママ。残念。孫文の記述（泣）。

☆この2冊を選ぶ学校は残念です。

24

教科（ 中学社会 歴史 ） 発行者（ 自由社 ）

内容について

他の8社の出版社と比較して、日本国民に愛国心、日本の文化に愛着がもてる内容になっていた。日本国民が自信と誇りをもてる日本の歴史教育に合った教科書になっていた。

構成・分量について

カラー印刷で、分量も適切。3年間で学ぶのに良い構成、分量である。

標記・表現について

知識のつめこみではなく、生徒が考えて学べる内容になっている。

使用上の便宜について

特に無し。

ご意見・ご感想

私の娘が中学生になったとき、自由社の中学社会歴史で学び、日本国民として自信と誇りをもってほしい。

25

教科（ 社会 ） 発行者（ 令和書籍、育鵬社、他 ）

内容について

令和…片寄った歴史観に基く書籍であって教科書としてはふさわしくない

育鵬…憲法改正をおしすすめるような内容になっていておかしい

…太平洋戦争を大東亜戦争とすることはおかしい。（自由社も）

…内閣と国会の関係がおかしい。天皇が一番上とは考えられない。

ご意見・ご感想

・教育委員(会)は、中学生が真実と平和を学べる教科書を選んでほしい。

特に公民における憲法のあつかいや歴史における戦争のあつかいが、一方的な教科書が目立つ。

中学生が議論しながら学べる教科書が良い。

26

教科（ 「国史」 ） 発行者（ 令和書籍 ）

内容について

世界各国王朝略年表…アジア・アフリカが欠落している。歴代天皇の皇位継承図…資料集にのせればよい。『国史』の書名は、非科学的。「日本列島の誕生」を神話に基づくのも非科学的。

ご意見・ご感想

まるで、明治時代にもどったかのような古色蒼然とした本。これが「教科書」とは、思えない。現代感覚とずれている。戦前の天皇中心の時代を行佛とさせる。

趣味の世界でつくられたような本が、「教科書」として合格したのは、驚きしかない。

※原則、原文そのままに記載しています。

27

教科（ 国史 ） 発行者（ 令和書籍 ）

内容について

全本が、時代錯誤

神武天皇からスタートする皇位継承国から～神話～

構成・分量について

主張は主張としてあるとしても教科書とすること自体が大問題⇔構成、分量⇔とんでもない

標記・表現について

内容に関しあり得ない。

たて書きに固執し全体として天皇崇拝の歴史史観は子ども達に誤りの歴史を教える＝恐怖しかない

使用上の便宜について

使用してはいけない

ご意見・ご感想

発行者云々以前にこの内容で検定合格した事自体が既に憲法違反の感がある。文科省のあり方を問いたい。

子ども達に手渡す事があってはならない

28

教科（ 社会「新しい歴史」 ） 発行者（ 自由社 ）

内容について

令和書籍の「国史」があまりにもひどいので、この本はある意味目立たないものの、かなり思想的であり、非科学的なものを感じる

構成・分量について

最初のとびらで日本の世界文化遺産をとり上げているのはよいと思います

標記・表現について

これまでの歴史研究の到達点を無視している表現におどろく。「大東亜戦争(太平洋戦争)」…考えられない。「米英開戦をニュースで知った日本国民は、その後次々と伝えられる戦果に歓喜しました」…戦争をあおり推進した側の反省がない。論外だと思う。

使用上の便宜について

最後のページで「日本は欧米列強の植民地になったことはなく、現在では世界有数の先進国に

なっています…」こうした自国優先主義の考え方をおしつけてはならない。それは子ども自身が学びを通して考えることである。

ご意見・ご感想

令和書籍「国史」同様、心がまだかたまりきれない柔軟な思考の中学生にはふさわしくないと感じる。

29

教科（ 社会科歴史「国史」 ） 発行者（ 令和書籍 ）

内容について

論外である。学問的研証を経て、現段階における歴史学の土台をもとに書かれなくてはならない教科書に、なぜこのような非科学的な“皇室の読み物”物語がまぎれこんで来たのか理解に苦しむ。検定において合格を与えてはいけない「教科書」といえる。

構成・分量について

・まず左開き、たて書きという装訂が異常である。すべて白黒というのも、歴史学習への興味をおさえつけ、学ぶことの意味を不明にし、学びに背をむける生徒をつくる危険がある

標記・表現について

○非戦、戦争に勝者も敗者もないことを掲げた日本国憲法にふさわしくない表現が多すぎる。

1列をあげると382ページ「…それでも人々はわが国の勝利を願い、一丸となって困難を乗り切ろうとしました。」

○国民の負わされた負担、悲劇に無批判である。政府の責任をあいまいに。

使用上の便宜について

教育を行う教員は苦しむだろう。この教科書をもしも採択したならば、歴史学習はかたよったプロパガンダの場となる。使ってはならない。

ご意見・ご感想

上記のように論外の「教科用図書」であり、良識ある貴教育委員会で採択するようなことなきよう願います。このような教科書が学校にもちこまれることによって未来は暗転することを憂う。

30

教科（ 歴史 ） 発行者（ 令和書籍 ）

内容について

・「国史教科書」というタイトルである中学生に身につけさせるのは世界の歴史の中の日本なのではないか。

※原則、原文そのままに記載しています。

- ・たて書きであるため数字がとても読みにくい.

構成・分量について

- ・「日本列島の誕生」から本文が始まっているのだが「古事記」はどのように記しているのたろうとなげかけている

科学的に説明してほしい

標記・表現について

- ・磨制石器は世界最古級→だから何なのでしょう

その後の4大文明をどう位置づけるのか

使用上の便宜について

日本のすばらしさを伝えたいという熱意はわかるが、ひじょうに片よっている。

中学校で身につけるべき世界史的知識が身につかない、興味がもてないとなるだろう

3 1

教科（ 歴史 ） 発行者（ 学び舎 ）

内容について

①他の出版と比べると、人々の暮らし、生活に視点をおいた構成になっていて特徴的。好印象をもった

②（東京書籍、教育出版、学び舎）3社

国民国家成立(近代)について、諸外国の例をていねいにとりあげている点が良いと思った。

③（育鵬社）

五日市憲法のとりあげ方がおかしい、ここでは“平等、人権”を重視した民間からの憲法素案というねらいのはずなのに・・・ずれている。

“大東亜戦争”の名称もいかなものか?偏よっている。

他にも戦争賛美につながる記述（ひめゆり部隊、特攻隊員など）がめだち、絶対これは使わないでほしい

ご意見・ご感想

採用してほしい出版社、

学び舎、東京書籍、教育出版、

3 2

教科（ 歴史れきし ） 発行者（ 自由社 ）

内容について

他の発行者よりも写真が古く貴重なものを載せていてとてもすばらしいと思いました。

※原則、原文そのままに記載しています。

構成・分量について

頂度、よいと思います。

標記・表現について

大切なところは、太字、大きな字を使用し読み易い表現となっています。

ご意見・ご感想

日本の歴史を語る中で“天皇”のご存在はなくてはならないと思っております。

歴代天皇の系図をきちんと出しているところは、『自由社』さんだけであり、他の出版社も見習ってほしいです。

日本のこども達が「日本に生まれてきて良かった。」「日本はすばらしい国だ」と実感できる様な教科書作りをしていただきたいです。

33

教科（ 社会 ） 発行者（ 令和書籍 ）

内容について

この社だけ他社とまるで違う。外観、内容ほぼ全てで、その違いに驚く。検定を通っているということはどういうことなのか。検定とはなにか。文科省ははっきり説明すべきだ。こういう結果が出ている中で区教委はどんな基準を立てて選択するのか。こういう検定に意見を上げるべきではないか。

現政府見解以外はならないという検定をしながらこういう国史観が現政府見解だとしていることになる。

34

教科（ 国史教科書 ） 発行者（ 令和出版 ）

内容について

天皇を中心とする権力者の視点立場からのみ、日本の歴史を解説 その中に庶民、国民の目線は記述されていない、極めて片寄った歴史観に基づいてまとめられた教科書である

35

教科（ 社会－歴史分野 ） 発行者（ 令和書籍 ）

内容について

タイトルが国史、世界各国王朝略年表、歴代天皇皇位継承図でスタートし、その後も民衆の姿はほとんど記載がありません、大変片寄った構成であることは、大日本帝国憲法関係で5頁教

※原則、原文そのままに記載しています。

育勅語で1.5 頁つかっているにもかかわらず、日本国憲法は、大日本帝国憲法の改正という見出しの中で小さく扱われ、日本国憲法の主要テーマ主権在民、平和主義基本白人権の尊重を「天皇が国家元首」が残ったと強調 戦争放棄は改正が議論されているとしながらも一応ふれています、基本的人権は(マッカーサー・ノート)の封建制度の廃止と記されているだけです。

又、太平洋戦争の記載においても戦聞、戦略の写真や記述が大変多く、厳しい生活を強いられた民衆、沖縄、広島・長崎をはじめ各地の空襲で命を奪われた人々についてはほとんどふれられていません、中学生が手にするものでありながら、当事のその年代の子どもたちの状況についても全くふれていないことも疑問です

使用上の便宜について

厚さ、縦書き、内の写真は白黒のみは生徒になじみにくいと考えます

ご意見・ご感想

正直いってこのような冊子が教科書として検定通過したことが信じられません
当然採択候補にならないと信じます。

36

教科（新しい歴史教科書） 発行者（自由社）

内容について

細かく、分類されて、見た目がとても分かりやすく

掲載されているので勉強のしがいがあると思う歴史の奥深さにも、勉強になりました

構成・分量について

教科書だからなのか、重量があり、持ち歩くには大変だなあと思う反面構成・分量は、その様なものなのかと納得しています

標記・表現について

分かりやすい

使用上の便宜について

特になし

ご意見・ご感想

昭和世代から見ても現代の教科書はずい分カラー刷りが多く見ごたえがあり先ず覚えやすく分かりやすいというところに感じ入りました。

37

教科（新しい歴史教科書） 発行者（自由社）

※原則、原文そのままに記載しています。

内容について

真実にもとずいた記述が多く見られ、これからの日本の子供達に我が国日本をほこりに思い日本を愛する心が育まれて行く内容である。

構成・分量について

構成・分量は、申し分が無い。

標記・表現について

正しい表記・表現がなされており、アイマイさが無く、スッと理解することが出来る。

使用上の便宜について

麻吏の流れに添って書いて居り、覚え易い。

ご意見・ご感想

真実に基づいた史実だと、納得できる。

これからの子供達が日本を大好きになり、日本国民としてこの国を愛して行って欲しい。

その為にこの教科書を採用して下さい。

38

教科（ 歴史 ） 発行者（ 帝国書院 他 ）

内容について

内容にギギを感じる部分もありました

構成・分量について

私たちの頃よりは学ぶ量も増えていると感じました。代わりに削減されている内容などはあるのでしょうか…

標記・表現について

帝国書院さんが個人的に見やすかったです。

使用上の便宜について

帝国書院さんのさくいんは、人名に女性などの凡例を付していただいております、女性活躍推進の観点からも良いと感じました。

ご意見・ご感想

このように拝見できるキカイを設けてくださりありがとうございます

39

教科（ 歴史 ） 発行者（ 自由社 ）

※原則、原文そのままに記載しています。

内容について

単にいつ何があったかということだけでなく、その背景までよくわかるようになっている

構成・分量について

バランスがとれている

標記・表現について

問題ない

使用上の便宜について

導入部の工夫などよくできている

ご意見・ご感想

教育基本法に定められた教育の目標である「伝統と文化を尊重し…我が国と郷土を愛する…」
にかなったものとなっている

40

教科（ 社会歴史 ） 発行者（ 教育出版 ）

内容について

歴史は内容が1番大事です。内容の評価基準を設け子どもたちが日本が大好きになる内容となっているかしっかり議論し採択につなげて下さい。

自尊的歴史教育により、イギリス病を克服したサッチャー首相の教育の事例は参考になります。

〈論点：教育基本法、我が国を愛する心を育てる内容となっているか〉

・琉球、アイヌの民族独立のような声が出てきている中、琉球処分とは何か、アイヌの歴史は実際どうだったのか、という視点が少ない、江戸時代から日本の一部として積み上げてきた歴史を欠いている

・神話は日本文化伝統日本人の精神性をつなぐ大事なものであり、最も重視する1つであるが、欠いている。

神話と歴史がつながってるのは世界で日本だけである！

・聖徳太子の外交～天皇の称号の始まりの観点がない。

・韓国併合～日本が保護国としての扱いから併合へ向かわざるを得なかった点や韓国への配慮が一切書いてない。植民地ではないのにそのようなイメージを持たせる内容となっている。

・満州事変～日本が中国、コミンテルンからの動きに、ソ連からの影響もふまえ、治安を安定させるため、等、支配力を強める目的ではない他、リットン調査団報告書の事実〔←自由社・育ほう社には記載あり〕から、教育出版の内容は適切とは思えない。

・日中戦争→支那事変を明記すべき、

・南京事件→東京裁判での証言は目撃した事実はないく、人から聞いた話として記録されてい

※原則、原文そのままに記載しています。

ます。実際に起きていないという研究も明らかなのに政治利用されてきた為、事実と異なるものを記載すべきではない。

- ・南京事件ではなく、通州事件を記載するべきだが載ってない。(中国による日本人の虐殺事件)
- ・太平洋憲章→素晴らしい印象を与えているが、アジア、アフリカの植民地の独立を認めるものではなかった、又適用されたのは白人のみ、よって、白人至上主義のものであることを欠いている
- ・太平洋(大東亜)戦争→追いつめられて、最後通告「ハルノート」の存在は欠かせない。なぜ対戦を決断せざるを得なかったのか、という日本側の苦悩の視点が無い。日本がアジアの独立に寄与し、自存自衛の旨記載がない。
- ・「欲しがりません勝つまでは」→自虐的史観満載、現代人からの視点であり、当時の人の視点がない
- ・戦時国際法→東京大空襲、原爆は国際法違反であり「ハイドパーク覚え書」(広島平和祈念資料館にも展示)にも狙いは“Japanese”(日本ではなく、日本人!)に何度でも落とす、と記されている事から、大虐殺である、又、戦勝国は一切裁かれることなく、日本軍のみに戦争犯罪をおしつけた旨も自由社の教科書には書いてある。(東京裁判で全員無罪としたパル判事も)

ご意見・ご感想

- ・日本人として自国の歴史が好きになる自国を誇りに思える。日本人側に立った本当の歴史が展開された内容の教科書を採択して下さい。自国に自信を失った子どもに将来は明るくないです(イギリス病の例からも)

41

教科(歴史) 発行者(自由社)

内容について

- P20 新人の世界拡散の経路の地図、(上の方にある)アフリカから広がるのはその通りであるが、ヒマラヤ山脈の上を通っていくのか?

構成・分量について

- p38 古事記、日本書記の話をするにしても見開き2ページつまり授業1時間分の扱いは多すぎる

標記・表現について

- ・p194 日露戦争を戦った日本人の内容は感情的すぎる
- ・P197 伊藤博文の扱いについても感情的すぎる

使用上の便宜について

- ・p238 大東亜戦争←とは今いいません。(太平洋戦争)というタイトルはおかしい
大東亜会議、大東亜共同宣言←必要ありません

※原則、原文そのままに記載しています。

・p245 聖断下る． これは何ですか？

日本は戦えなくなり無条件降伏したのですからそれがきちんと書いてなければなりません

ご意見・ご感想

元中学校社会科教員です。

現場の教えている教員の意見をしっかりきいてください

4 2

教科（ 社会（歴史） ） 発行者（ 日本文教出版 ）

ご意見・ご感想

第二次世界大戦についての項、大戦の始まり(ヨーロッパについて、日本について)これは、事実に測していないところが多々あると思う、アメリカの当時の公文書が公開されたことでの研究も進んだり当時の大統領の近くにいた人の本が出たりしたものを読んだが、このあたりの事実は、全くと言っていいほど違うと思う、子供達には事実を伝えることが大事と思う

4 3

教科（ 歴史 ） 発行者（ 育鵬社 ）

内容について

- ・～P27 学習の方法や時代区分など前置きが長すぎる
- ・P28 人類と日本のはじまりのあと、P30 縄文時代にはいるのはおかしい、まず4大文明をやらなければ

構成・分量について

[ここまでの30ページで、歴史は古い時代から現代にむかう人々の生活を学ぶという原則がわからなくなる]

標記・表現について

・P234 見出しでは太平洋戦争となっているが本文中では大東亜戦争が主としてでてくる
他の教科書と戦争関連の語句に違いが多い

使用上の便宜について

私はこの教科書の前の会社の教科書で教えたことがあった(元公立学校教員)

あまり使わない用語が太字、つまり重要用語になっていて、受験で、生徒が困るだろうと思っていた。

ご意見・ご感想

現場の教員が選ぶ教科書を採択してほしいと強く願っている

4 4

教科（ 社会 歴史 ） 発行者（ 教育出版 ）

内容について

近現代史の表題は適格でわかりやすい

記述内容や概ね民衆、国民の立場で記述されている領土問題は各社共通だが政府見解の一方的説明で他国側の視点紹介も必要。

使用上の便宜について

授業進行に誘導的なページや吹きだしなどがないことは教師にとって使いやすい。

4 5

教科（ 社会科 ） 発行者（ 東京書籍 ）

内容について

知識の一般的紹介が中心で、民主主義や人権の価値や意義について説得的な記述が見られない

使用上の便宜について

「確めよう、ふり返ろう、深めよう」などのページは授業進行を特定のパターンに誘導するもので教科書にはなじまない。本文の充実した記述に傾注すべき。

4 6

教科（ 社会科 歴史 ） 発行者（ 帝国 ）

内容について

近現代史は国民住民の視点からの記述となっていて満蒙開拓団がとりあげられたり(P260)沖縄戦の実態をめぐっては中学生にもわかりやすい記述で史実が反映されている

使用上の便宜について

巻頭の「考えを整理する方法」や各ページの子どもによる吹き出しの言葉などは授業内容や展開を誘導し、教科事門家としての教師の創意や自由な授業を阻害するもので不要。

4 7

教科（ 社会科 歴史 ） 発行者（ 山川 ）

内容について

歴史の重要用語をつないだ羅列的文章で、子どもの興味関心をかきたてられない無味な記述がめだつ。

48

教科（ 歴史 ） 発行者（ 学び舎 ）

内容について

時代を象徴するエピソードを題材に構成したユニークさが、子どもの興味関心を惹くと思われる。ただ時代の基本知識と通史理解には不足があるのではないか。

標記・表現について

太字の用語がなく、知識暗記主義の歴史学習からの脱皮の試みは好感がもてる。

使用上の便宜について

教師の授業力が問われ、創意が発揮できる数料書ではある。日本の歴史教科書の新しい試みとし魅力はある。

49

教科（ 歴史 ） 発行者（ 自由社 ）

内容について

人物史的要素が強く、選択にも偏りがあり、天皇皇室からの視点や史観も目立つ。明治維新の美化、植民地支配の無反省、「大東亜戦争」という時代錯誤など、子どもに誤った歴史認識を与える。

標記・表現について

何度か出てくる「ご先祖さま」という言葉に違和感がある、歴史から批判的に学ぶ視点が無い。

50

教科（ 国史 ） 発行者（ 令和書籍 ）

内容について

時代錯誤がはなはだしく、戦前の価値観と皇宝史観で書かれていて問題外。

こうした教科書が合格する文科省の検定制度を疑う。

日本は「民主主義的価値を共有する国々の一員」（岸田首相）ではなかったのか。

51

教科（ 社会 ） 発行者（ 日本文教 ）

内容について

写真が多く文章は読みやすく細かくない表現でわかりやすい思った

ご意見・ご感想

本の内容が多く、分量が多い様に思ったのですが良く考えられていると思います。戦前戦後の歴史が子ども達の中にじっくり、事実が語られて欲しいと思います。

5 2

ご意見・ご感想

ほとんどの教科書も内容が集まりすぎて子供達の頭の中に入って行かれるか気になりました。学び舎の教科書「ともに学ぶ人間の歴史」はとても良かったと思いました。

5 3

教科（ 歴史分野 ） 発行者（ 日本文教出版 ）

内容について

アジア・太平洋戦争について

構成・分量について

- 日本軍国主義が戦争につき進んだ経緯をもっとくわしく掘り下げてほしい。
- チャレンジ歴史の項目は、事実を深く掘り下げて認識する足がかりになると思う。

ご意見・ご感想

21 世紀の現在、近現代に重点を置いた教育が大事ではないかと感じました。江戸時代以前の記述が多すぎると思います。

5 4

教科（ 中学社会 歴史 ） 発行者（ 育鵬社 ）

標記・表現について

太平洋戦争(大東亜戦争)という表現が3 ページにわたり出現。
侵略戦争肯定の用語を使用するのは不適切。

5 5

教科（ 中学社会 歴史 ） 発行者（ 自由社 ）

標記・表現について

「大東亜戦争」という表記が事項さくいで見る限りでも 8 ページに出現している。侵略戦争を肯定する意味あいを持つ言葉の掲載は不適切である。

56

教科（ 歴史 ） 発行者（ 全出版社 ）

内容について

満州事変→太平洋戦争の流れで、日本が権益を求めて中国の動きを封じようとした点、その結果国連脱退までした歴史の流れについて学び舎はきちんとかいてある。教育出版はかなり簡略化、帝国書院は満州事変支持の新聞についてもふれている、日文も秘密にされていた南京事件や創氏改名 etc について記載。軍部批判をした、政治家についての記載もあり、評価できる。自由社は日中戦争に関し、かなりのページを使ってかいてあるが、その基本トーンは日本が中国での権益を守るのが当然である、とのもの。又、戦争終結に関し、天皇の決断が遅かったため、被害が拡大したことについては(私は、その考えています)ほとんどの数料書がふれていないが、自由社版では 8 月 15 日について、特別に「聖断」として協調してあり、違和感がある育鵬社版も日中戦争や国連脱退の責任は中国側にあるとの姿勢に終始している。「玉音放送」への評価も自由出版に近い。東京書籍は戦時下の人々のページで「国民の動員」についてふれているのはよいと感じる。学び舎も子どもの様子、子どもたちが軍国少女少女になっていくだろう、「愛国カルタ」等の掲載があるのは良い。

ご意見・ご感想

戦争前夜か、といわれる現在歴史を学ぶ中学生たちが、軍事的ぶつかり合いでなく、平和を希求する力をつける「学び」を獲得できる教科書を手にしてほしいと願って、不十分ですが全教科書に眼を通しました。その中で先の戦争に何故突入してしまったのか、海外も含む一般の人々がどのように思い過し、そして多大な影響を受けたのかに注目しましたここには、令和出版の「国史」については具体的にふれていませんこのような本が検定を通ったことに驚き恐怖を感じます

乱筆申しわけありません

57

教科（ 国史 ） 発行者（ 令和書籍 ）

内容について

これが中学生の教科書として文科省を通っていること自体、おどろく。
書体も読みづらく、ある種の障がいを持つ子には読み取れないのではないかな。私でも読むのが辛くなる。内容もかたよりがある。何かの個人的な読み物としてならよいのかも知れないが、教科書としてはふさわしくなく、これで学んだ子どもたちの歴史認識がとても心配になってしまう

※原則、原文そのままに記載しています。

構成・分量について

神話時代が異様に長い

標記・表現について

文字は大変読みづらい。ユニバーサル、多様性が軽視されている。

書体も文字の大きさも課題が多い

ご意見・ご感想

例えば P323 の乃木将軍の話など、戦争を美化しているように思える。

p328 の下段「この勝利は、近代において有色人種が白色人種に勝利を収めた初の例であり」とても差別的で問題の多い書きぶり、内容です。

他にも問題と思われる視点での書き方、表現が散見されます。また、先入観を抱かせる表現もあり、とても偏っていることに驚きをおぼせません。

大平洋戦争、第二次世界大戦も日本が東南アジアなどでしたことやその反省はなく一方的な書き方。また天皇制にたいへんこだわった全体像となっている

58

教科（ 中学歴史 ） 発行者（ 令和書籍 ）

内容について

単なる著者の感想文集。歴史は社会科学である。単に個人の感想を書きつづるのであれば、教科書以外でご勝手に！

構成・分量について

ムダに厚い！

標記・表現について

だらだらとした文章。長ったらしい文章で読みにくい、著者は小説家にはなれそうもない。もちろん学者にも！

使用上の便宜について

厚すぎる上に、カラー写真もなく資料的価値もない

ご意見・ご感想

これを採用する教育委員会ってどこかにあるのだろうか?知的レベルを疑うが

59

教科（ 歴史 ） 発行者（ 自由社 ）

※原則、原文そのままに記載しています。

内容について

日本の成り立ちがよくわかる。

他の教科書にはない唯一天皇家の家系図がありました。

なぜ日本が戦争をしなくてはいけない状況になったのかがわかりました。

使用上の便宜について

調べるときも、目次がとても見やすく、見たいページをすぐに見つけられました。

ご意見・ご感想

色々な出版社があることは知っていましたが、内容が多種多様なことに驚きました。

今回は初めて展示会に来ましたが、無関心だった層からも今まで以上に注目されていくと思います。とくに自国の歴史を学ぶことは自分は何んのために生まれたのか、子供たちの精神性を創り上げる大切な授業になります。

解明されている事実がある中で、未だに南京事件を取り上げている教科書があることに驚きました。自虐史観を持った子が多く、日本に生まれたことに自信がない、誇りが持てない子が多いのも、誰が作ったのか、どんな意図で作られたのかわからない教科書、また、それを参考書として使っている教育現場の責任を感じました。これからの未来を担う子どもたちがどうか日本に生まれてよかったと思えるような教科書ができた今、きちんと選んでいただきたいと心から思いました。

60

教科（ 中学社会、歴史 ） 発行者（ 自由社 ）

内容について

大きく6つの項目に分けられており、整理しやすい。

また、各ページの下に年代の表記があり、どの時代を学んでいるのか把握しやすい。

構成・分量について

写真も豊富に採用されており学びやすい。

また、各単元の前に序章があり、記載方針が述べられておりよい。

標記・表現について

文章が正確でよい（誰が行ったか等が明記されており、あいまいさが排除されている）。

図等、バランスよく配置されている。

使用上の便宜について

情報量の多さから考えると非常にコンパクトに作られていると思う。

ご意見・ご感想

Q6 でも述べましたが、記載が明瞭で良いと思いました。

事実を客観的に記載している方針に誠実さを感じました。

子供達が真実に触れ、自ら考えることができる日本人になってほしいと思いました。

6 1

教科（ 中学歴史 ） 発行者（ 山川出版 ）

標記・表現について

247 ページに「多くの朝鮮人が…徴用され…過酷な労働を強いられた」とあるが、正確な表現ではない。多くが自ら希望して働いた。

また注がきで慰安施設の記載があるが、これも強制的に集められたと誤解される恐れあり

6 2

教科（ 歴史 ） 発行者（ 教育出版 ）

内容について

背景記載が不十分

標記・表現について

世界最古の憲法である十七条の憲法は全条記載すべき

使用上の便宜について

レイアウトがごちゃごちゃして使いにくそう

ご意見・ご感想

全体的に、教育基本法で定められた「伝統と文化を尊重し…わが国と郷土を愛する」につながるような書き振りにはなっていない。

6 3

教科（ 国史 ） 発行者（ 令和書籍 ）

内容について

日本の歴史がきちんと記載されておりわかりやすい。

構成・分量について

盛り沢山

使用上の便宜について

少し文字が小さい

ご意見・ご感想

歴史教科書は大抵、国に対し希望や誇りが持てない内容が多い。

客観的に見て自虐史観的な要素も少なく、良い内容ではないかと思う。

6 4

教科（ 国史 ） 発行者（ 令和書籍株式会社 ）

内容について

今まで使われてきた歴史教科書よりも、詳細に歴史を学ぶことができ、因果関係など、子供が歴史を嫌いになる理由の一つである「歴史のわかりにくさ」を解消した教科書であると考えられる。誤った歴史認識などを防ぎながら、楽しく歴史を学べる教科書であるとも考えられる。また今までスポットライトの当たっていなかった偉人の紹介もあり、深く学べると同時に、広く学ぶことができると感じた。

構成・分量について

非常にバランスよく構成されており、幅広い領域を学びながら、最小限度の文字数で表されており、非常に読みやすいと感じた。深く歴史を学びたい子供にも、歴史にあまり興味がない子供でも読んでいて楽しいと感じれる文章、文量、構成であると感じた。

標記・表現について

イラストが入っており、歴史が苦手な子供でもフランクに歴史に触れることができるのではないかと感じた。また、我々が利用してきた教科書よりも図がわかりやすく、必要な情報が最大効率で埋め込まれていると感じた。写真、資料においても、多量することなく、適切な量であり、文が読みにくくなると言ったことが起こっていない点も素晴らしいと感じた。

使用上の便宜について

文字は読みやすく、重要な点は他の教科書よりもわかりやすく太字になっているため、テスト等の勉強においても、非常に使いやすそうと感じた。

ご意見・ご感想

この教科書を用いて、歴史を学べる現代の学生が非常に羨ましい。積極的に活用していただきたい。

6 5

教科（ 日本史 ）

内容について

世界史と日本史が並列して書かれているのはとてもよいと思いました。ただ明治以降と以前のページ数がほぼ同量なのは明治以前は足りなさすぎるし、全体的に内容が薄い。

限られた時間で授業しなければいけないと思うが、これではこどもの歴史へ興味をもつのは難しいのではないのでしょうか。

またどの教科書も新選組が一言もでてこないことにびっくりしました。昔は載っていなかった杉原千畝が載っているのはとても評価できると思います。

構成・分量について

全体的に薄い。薄くても問題ないところもあるとは思いますが、こどもの興味がありそうなところ(知名度のある偉人や事件出来事)はもっと深掘りしてもよいと思います。

標記・表現について

偉人、とくに歴代天皇の名前にルビが振ってあるのはよいと思います。

あと、天皇家や藤原家など家系図があるのはわかりやすい。

使用上の便宜について

勉強するのに B5 がよいのではないのでしょうか。

6 6

発行者（ 令和書籍 ）

ご意見・ご感想

昨日、国史の「歴代天皇の皇位継続図」を見て仰天しました。ショックが大きすぎて眠れぬ一夜を過ごして今日になりました。

令和書籍が何をどう書こうと他者を傷つけぬかぎり表現の自由の範疇なのだろうと認識しています。しかし、これは 子どもたちが学ぶ教科書です。中学教科書検定にあたり、こうした史観を合格とした文科省のあり方に危惧・恐れを感じます。いつから文科省は日本国憲法の趣旨からここまで逸脱してしまったのか、を思うと背筋が凍ります。

世界の中で未来を担う子どもたちが学ぶ教科書として「合格」となるのでしょうか？ひとつひとつ家庭の力は微々たるもの。これを一齐に子どもたちが学ぶことを承認することは許しがたいことです。”採用”となれば、憲法違反として裁判も辞さない思いでいっぱいです。

6 7

教科（ 中学社会 ） 発行者（ 教育出版 ）

内容について

地理歴史公民にわかれていて、

※原則、原文そのままに記載しています。

構成・分量について

中学生としては良い。

標記・表現について

わかりやすい 写真なども使っていて良い。

ご意見・ご感想

わかりやすい表現で、読みやすい。

68

教科（ 新しい公民 ） 発行者（ 自由社 ）

内容について

国旗と国歌のところにラモスの言葉が乗っていた。皆は素直に聞くのだろうか？！

私は笑ってしまった。「自己隊と日本安全補償も読んだ。

どれも一方的な書き方でこちらも笑ってしまいました。

標記・表現について

少なくとも笑う税にならないよう気づけてもらいたいものだ。

ご意見・ご感想

これは、かなりの量です。ついつい読んでしまうと大変な時間を使います。

「ここが違う表記」などわかりやすい付箋でもつけてもらいたいと思いました。

69

教科（ 公民 ） 発行者（ 自由社 ）

ご意見・ご感想

グローバル化を述べているのはこれだけのようだ。

日本人の精神などを述べてあるのが良い。

70

教科（ 社会－公民－ ）

内容について

①帝国書院の大日本帝国憲法と日本国憲法について併記するような形で出しているのはよい。

生徒は比べながら学習できる。他社も同様である。

②育鵬社の日本国憲法制定過程はGHQ が作って、「日本政府に受け入れるようきびしく迫りました」と書かれているが、誤りである。GHQ 案を基礎にはしているが、GHQ が作ったのではない。

※原則、原文そのままに記載しています。

誤った認識を生徒に学ばせることはできない。自由社も育鵬社と同じ内容を記述しているが誤りである。生徒に学ばせることはできない。

③帝国書院が『あたらしい憲法のはなし』から三大原理に関する挿絵」を載せて説明している。生徒と話し合いながら授業を進めることができて好ましい。

④「基本的人権の尊重」に関して2ページにわたり説明しているのは帝国書院だけ。大切に扱っているのがわかる。「基本的人権の保障」には「不断の努力」がいと書かれているのも大切な指摘だ。ここでも「あたらしい憲法のはなし」が引用(欄外に)されている。生徒と共に学びたい扱いだ。

⑤育鵬社が「基本的人権の尊重」と「公共の福祉」を対立する存在として扱っているのは如何なものか。共立することを見出すのが教育だ。教育を放棄しているのかも疑う。自由社の扱いも同じだ。

7 1

教科 (公民) 発行者 (育鵬社)

内容について

憲法についてよくできている憲法の中味をよく知らせることが大事である。帝国憲法では女性の選挙権もなかったことなど、1つ1つ分かってもらうことが大事。

構成・分量について

憲法の内容をよく勉強して知った上で、はじめて不都合な点を考えることである。

ご意見・ご感想

世論が分かれている。憲法を改正するかしらないかだけでは十分ではなく、憲法を変えたいという意図が前面に現れている。

現在は現憲法の下で生活しているので、その憲法が守られているのかを勉強する必要がある。以上の点でこの教科書は、使わない方がよいと考える。

7 2

教科 (公民的分野) 発行者 (日本文教出版)

内容について

「脱炭素社会の実現へ」板橋区が取り上げられており身近に感じます。

7 3

教科 (社会—公民—) 発行者 (自由社)

内容について

・日本・日本人が特に優秀であると思わせる内容・記述が多い。
その内容が科学的裏付けがされているわけではなく、精神主義と自己努力を強いる記述である

例、「日本人の精神」の前書き「日本の自画像」の「ここがポイント!」など。世界の中で生きていく中学生に、この記述でよいのか。人間としての豊かな成長・発達、この教科書では期待できない。

愛国心「自国の文化と伝統、さらに歴史、国民、社会・自然環境などを大切にする気持ちが基礎」ーこの記述は正しい。しかし、この社が出している歴史教科書は非科学的記述が多い。その教科書で学んだ時、本当の意味での愛国心は育たない。

憲法の記述に関して、

東京書籍「個人の尊重と日本国憲法」と単元名にある。学ばせたいことが明確に表現されていてよい。小学校で学んで来たことの項目を提示しているのも、小中のつながりを意識していてよい。

消費生活に関して 「18歳へのステップ」で「契約と支払いの方法のあれこれ」と銘うって、わかり易い例で説明している。中学生に是非知ってほしい内容だ。

人権に関して

- ・「ハンセン病」「アイヌ民族のこと」「在日外国人」「ぜんそくの中学生」「障がいのある人」など、弱者に目を向けて、人権のことを考えさせるのも、大切な視点である。
- ・新しい人権として「産業や科学技術の発展と人権」「情報化の進展と人権」の2つを入れている。いずれも大切に、中学生に考えさせたい視点だ。

74

教科（ 公民 ） 発行者（ 日本文教出版 ）

内容について

概ね、公民の範囲について詳細に記述されているように思います。
板橋区の取組である緑のカーテンも記載があり、親しみを感じます

構成・分量について

- ・少し分量が多いように思います
- ・ディベートなどについてはプレゼンテーションも含め、もう少しあっても良いかと思います

標記・表現について

適当だと思います

使用上の便宜について

3冊セット(地理、公民・歴史)でまとまっていますが、かなり重いです

ご意見・ご感想

他の社に比べ、記述が詳細な感じになっています。

75

教科（ 公民 ） 発行者（ 自由社 ）

内容について

「もっと知りたい」

「アクティブに深めよう」

というページで2ページ分の内容があるがどれもとてもむずかしい

簡単にとりあつかえないものばかり

こういうことを考えなければならないのか、というと子どもにとっては重い教科になる、
憲法 家族 地方自治の基本を教える教科書にしてほしい

ご意見・ご感想

現場の教員の意見を尊重して採択していただきたい

76

教科（ 公民 ） 発行者（ 育鵬社 ）

内容について

P51 各国の国防について

P54 憲法改正の回数→日本のみ0

P54 憲法改正のしくみ⇒ここからすけてみえるのは、日本の改憲への意識をもつ公民にしたい
という思想である

これは1つの考えのおしつけである

標記・表現について

現政権の大臣、知事の顔出しの回数が多い

50 54 58 82 94 106

110

使用上の便宜について

全体的に雑多なことが書きこまれ何を教えるかという課題が明確にならない教科書である

ご意見・ご感想

現場の先生方の意見をよくきいて採択していただきたい

77

教科（ 社会 公民 ） 発行者（ 教育出版 ）

内容について

憲法と法の拘事対象のちがい、日本国憲法の成立過程などは比較的正確な記述が見られる

使用上の便宜について

「ふり返ろう」「考えよう」などのページは昨今の「学校スタンダード」を意識した「受けねらい」に見受けられ、るとともにわかりやすく正券な知識理解をとという教科書の本分に立ち返るべき。授業進行を誘導するページは数科書には不要。

78

教科（ 社会科 公民 ） 発行者（ 帝国 ）

内容について

憲法改正について、3原則などの基本原理の変更は許されないとの学会通説を明記しているのは出色(P.69)

集団的自衛権を安易に容認し、その危険への指摘には欠ける（P.41）

使用上の便宜について

民主主義を成立させる討議はゲームではないので、子どもが自分の信しるところを主張しあうことが望ましく、教科書でダイバートを推奨することは望ましくない(P65)

79

教科（ 社会、公民。 ） 発行者（ 全体的に ）

ご意見・ご感想

ここに書くほどのことではないんですが、総理大臣の写真がだいぶ昔の人だったり、スマホやアプリといった、現代の社会インフラの説明があまりなく、少し古い内容だったりとまだ「平成」にいるような印象を受けました。この教科は最も時代の変化をうけやすく、常に最新にアップデートしていると思ったので、読んでみて、ああ、こんな古いんだと思いました。表紙の「新編」というのもそういう意味かなと、まあ、でもそういうものですね。意見とかではなくただの感想です。ここには選挙のついでに、初めてきてみましたが、とても興味深く、勉強になりました。ありがとうございました。選定には、時間がかかるし、その間に世界は、変わっていくし、教科書つくるのって大変なんですね。三権分立あたりの社会のきそ的なところはとても充実していて、大人も勉強になりました。

80

教科（ 公民 ） 発行者（ 全出版社 ）

内容について

育鵬社版は、家族の一員・郷土の一員～一人では生きられない、「法」の強調により、子どもたちが自分の権利を主張しにくいものになっている

※原則、原文そのままに記載しています。

自由社はまず日本からスタートし、そして個人と社会生活として「家族」「地域」「社会」が示されている。

児童虐待やヤングケアラー問題が社会的課題となっている中、あまりに現状に合わない教科書である。

日文の政治と民主主義から入り憲法・人権が後になっている点は少し違和感がある。法はその時々改訂されたり制定されており、まず子どもたちにしっかり押えてもらいたいのは憲法であり、基本的人権と思う

教育出版東京書籍は内容的な差は余り感じられなかった、現在ある法について東書は、QRコードで、読めるようになっているので少しページ数が少なく納まっている。

ご意見・ご感想

公民は現在の様々なテーマについて考える、たたき台になるものと考えてる。その中で、今回私は、人権の面から教科書をみた。

現在、個々人が自分が本来もっているべき権利を主張しにくい状況が多くみられる。私は子どもたちがまずは、自分自身がもっている権利をきちんと知り、その上で、もし、ぶつかる点などがあれば、話し合いで解決する力をつけてほしいと考えている。

乱筆もうしわけありません

81

ご意見・ご感想

全体的に昔と比べてカラフルで見易くなっていますね。

ただ、とても重くなっているので、子供は大変かも…。

公民など改めて見るとちゃんと大切な事が書かれていますね。

歴史は近代が半分位と多くなっていて驚きました。

82

教科（ 社会 ） 発行者（ 自由社 ）

標記・表現について

写真が多いと、理解しやすい

ご意見・ご感想

興味がもてるような教科書がいいですね

現在の地理的な場所と歴史的な出来事のおきた場所をてらしあわせて表示であると理解しやすいかもしれません

83

教科（ 社会 ） 発行者（ 東京書籍・教育出版・帝国書院 ）

※原則、原文そのままに記載しています。

内容について

帝国書院は、章のはじまりページがあつたりなかつたりして、不規則。学習の見通しが分かりづらいのでは?学習する子どもたちにとっては、不親切だと思う。

構成・分量について

東京書籍は公民の用語解説を QR コードから見れるようにしているが、軽量化しているが、用語は重要なので、載せた方が良い。

標記・表現について

他の分野との連携マークは、東京書籍と帝国書院は、どの単位と関係しているか分からないが、教育出版は単元名もあるので良い。

帝国書院は、レイアウトなのか文字と図が詰まっている感じがして見づらい。

使用上の便宜について

特にはし

ご意見・ご感想

歴史教科書が話題となっていたので見にきました。大手ではない会社は、内容的に不安があります。今回見た3つの会社はどれも比較的良かったですが、バランス良く、また、子どもの自学自習に向いていて、欠点が少ないのは、教育出版だと思いました。

表紙は、どれも似ている感じがしますが、教育出版は、メッセージ性があり、好印象です。

令和書籍は、教科書ではなく、市販されるようなもので、これで子どもたちが学習する、先生が教えるのは無理だと思いました。

84

教科 (地理・地図帳) 発行者 (東書)

内容について

東京書籍は以前表記(日本語よみ)に問題があつたり、まちがった表記も多数あつた。今回すべて改善されたのか?

構成・分量について

P37 ヨーロッパの鳥かん図、こんなに場所をとりながら載せる必要があるのか疑問

85

教科 (社会) 発行者 (教育出版)

内容について

よい

※原則、原文そのままに記載しています。

構成・分量について

丁度よい

標記・表現について

もんだなく使える

使用上の便宜について

学習单元についてまとめがあるのがつかいやすい

86

教科（ 社会 ） 発行者（ 全社 ）

ご意見・ご感想

子どもがタブレットで勉強するようになってからだいぶたちますが、文字を書く機会が減ったように感じます。そのような教育が必要なのはわかりますが、ちょっとやりすぎにも感じます。東京書籍の教科書には全てのページに QR コードが入っていて、逆に自由社の教科書には QR コードが見つけられませんでした。やりすぎも考えものですが無いのも少し心配になります。そのあたりも考えて教科書を選んでもらえることをのぞみます。

87

教科（ 歴史・公民 ） 発行者（ 育鵬社、帝国書院、自由社、令和書籍、学び舎 ）

内容について

令和書籍の歴史は史実に結びつかなく、天皇中心主義の歴史、また育鵬社・自由社も程度の差こそあれ、戦争の美化と民族主義がうかがわれる。

学び舎が一番史実にもとづいているが、帝国書院も民衆の姿がいきいきと描かれていて好る感がある。

標記・表現について

令和書籍はそもそも「国史教科書」となっていることに疑問。

ご意見・ご感想

戦争を美化し民族主義に偏る教科書の採択はしないでほしい・又・アイヌや沖縄の人々のも偏見に満ちた教科書もあった。

史実に基づいた教科書で子どもたちに教えるべきだと思います。

88

教科（ 地理・歴史・公民 ） 発行者（ 全社 ）

※原則、原文そのままに記載しています。

内容について

令和書籍は論外です。それ以外は、大きさは差は無いと思いますが、帝国書院は導入に関して学習の見通しが立てづらいと思います。

構成・分量について

東京書籍は資料が小さい。また、まとめページが多いので、先生も子どもも大変ではないか。人権や社会保障を丁寧に載せているのは、教育出版。少しハイレベルだが、山川は面白い視点のコラムがある

標記・表現について

東京書籍は、まとめで「説明しましょう」ばかりで工夫がない。
帝国書籍は情報過多で1ページ1ページが見づらい。

使用上の便宜について

学び舎は、本自身が大きすぎる。
日本文教社は、地理の世界学習など、学習の流れが分がりづらい。
生徒にも課した学習をさせてしまうのではないか。

ご意見・ご感想

国語や数学、英語ばかり注目されますが、社会科での学びは同じくらい重要だと思っています。

3教科同様に、小学校から学習の視点や見方・考え方を養っているはずです。
9年間”で、教養のある、また、政治に関心をもつ子どもたちが育つことを願っています。
小学校と中学校で連携した社会科を研究し、良い授業を期待しています。

89

教科（ 社会科 公民・歴史 ） 発行者（ 日本文教 ）

内容について

資料集のように図版やコラムが多く、肝心の本文記述に深みがない・太字の用語も多すぎてそれぞれの理解や興味関心に及びがたい。

使用上の便宜について

「チャレンジ公民」「明日に向かって」などのページは特定の例をわざとらしい展開で示し、教科書にはないまず教師の創意にもとづく授業進行を妨げる。

90

教科（ 社会科 歴史、公民 ） 発行者（ 育鵬社 ）

※原則、原文そのままに記載しています。

内容について

人物史的で登場人物にも偏りがあり、神話にページを割いたり皇国史観が目立ち、非科学的で学問的な検証がない・日本の侵略戦争に無反省で美化が見られることも子どもの将来と国際友好に有害である。

公民で憲法改正への誘導が目立ち特定の思想的立場が露骨である。

子どもに手渡す教科書には到底なじまない。

91

教科（ 歴史、公民 ）

内容について

どの教科も画一的な授業を押しつけているのではないか？QRコードが各ページにある会社もあって、こればかりに片寄っていないでしょうか？生徒が自ら調べようとする意欲が減退し受け身になってしまいそう。

山川出版は、比較的歴史の表裏を書いているが、沖縄戦についての記述がないのは残念。

自由社の「神話が語る国の始まり」(P.38)歴史の教科書に神話が必要だろうか？歴史は科学だと思う。事実が証明されていないことは取り扱う必要はないと思う。日本と世界の歴史が入れ替わりたち替わり出て来るが、比較するためには、よいのかとも思うが、中学生はかなり困乱するのでは？

育鵬社○鎌倉幕府が開かれた年は今では1180年～85、など、諸説があるのに昔ながらの（筆者が学習した70年前）1192が使われているのはどうか？

○また、日露戦争時の民衆の悲しみや反対意見があったのに、全くふれられていない（韓国併合も）

○戦争の名目としてアジアを植民地支配からの解放として大東亜戦争と記述しているのはどうか？増して、日本がアジアの人々に過酷な労働をさせたことを、責任のある書き方をしていない。

○国民主権の現在、天皇をことさら強調しているのはやりすぎだ。

○憲法の項で、「改正」とあるが、誤解を招く記述である。

○沖縄の基地問題をアジア太平洋地域の平和と安全に不可欠です、というのは政府の見解。基地(戦争)で平和は保たれない。

令和書籍○戦争を肯定し、憲法を軽視する教科書を子ども達に与えないでください。

○神が日本のはじまり、日本列島を造ったなど歴史ではないことが表記されていて、子ども達は洗脳されかねない。

○慰安婦問題も頭が否定しているのはおかしい。

構成・分量について

各教科とも量が多い。中学校の時間内で消化できるか。

使用上の便宜について

1セットしか置かないのでは困ります。他の方が見ていると見られないのです。複数セット置いてください。また各学校に1セットずつ置くよう教科書会社が費用を負担するのではなく、国地方自治体が必要経費をして出費し、もっと大勢の方が見られるようにしてください。

ご意見・ご感想

この記入形式では意見が書きにくいです。昨年もお願いしましたが比較しながら記入したいのでひとつの会社にだけ書けるような形はやめてください。

◎子どものことを一番よく知っている現場の（校長でなく）教職員の意見で教科書を採択してください。（ウン十年のように）

9 2

内容について

自由社公民 第一章家族の役割→伝統的な役割を宛てた家族像が強く、現状に目を向けていないのではないか。

第3章 P78 権利の平等の頁を見た感想⇒色々な考え方があり得て生徒が自由に思索するというより、教科書の押しつけが強い

育鵬社公民

第3節 P.26 家族の役割の説明について、まず個人の尊厳が一番にあると思うがそこを踏まえない家族の役割論に違和感がある

第2節 P.22 6 アイヌの古式舞踊が日本の伝統文化のくくりに入れられていることは疑問です。

日本文教出版公民→P.7でQRコードを試しました。必要性があるのでしょうか？

9 3

教科（ 歴史・公民 ） 発行者（ 山川出版 ）

内容について

太平洋戦争のはじまり～戦争下の国民生活～第二次世界大戦の終結 人々の生活がよく伝わる記述である。なぜ日本軍が勝利の見通しもなくなったのに、継続したかについても触れられていて、戦争について、今後も子どもたちが考えていく時に、大きな学びになると思う。

P.260の大日本帝国憲法と日本国憲法の比較は、ページをさいて、憲法を考えることができるづくりだと思う。

教育出版(公民)

P.197の国旗と国歌の歴史の所は、とりあげ方が正しくないと思う。戦争中に日の丸・君が代がどのような役割を果たしてきたか、侵略戦争のシンボルであったことが、見解はいろいろあるにしても、触れられてもいないのは、とても傾寄っている書き方だと思う。

※原則、原文そのままに記載しています。

歴史（自由社）P238「大東亜戦争」～

P. 240 大東亜会議とアジア諸国

「アジアの人人を奮い立たせた日本の行動」や「日本を解放軍としてむかえたインドネシアの人々」をはじめ、取り上げ方が、戦争を肯定的に役に立つ戦争があるかのようである。現在、ウクライナや、ガザでおこされている戦争や虐待に対しても、こうした教科書で学ぶことで「反対」する立場に立つことができないのではないのかと思う。このような教科書を採択しないで下さい。

9 4

教科（ 歴史・公民 ） 発行者（ 自由社 ）

内容について

P. 238「大東亜戦争」～P. 240 大東亜会議とアジア諸国を奮い立たせた日本の行動」や「日本を解放軍としてむかえたインドネシアの人々」をはじめ、戦争を肯定的に扱っています。こうした教科書で学ぶことで、現在おこっている戦争についても、「反対」の立場に立つことができなくなってしまうと思います。このような教科書を採択しないで下さい。

公民(自由社)

P. 30 愛国心の書き方は、「同じ国家に属するという共通の意識から国民は一体感をもつことができます」という書き方は、同じ国に属していることでの愛国心の強制です。

一体感にそぐわない人は、「非国民」と言われかねないです。このような教科書は採択しないで下さい。

9 5

教科（ 歴史、公民 ） 発行者（ 育鵬社 自由社、令和書籍 ）

内容について

- ・神話はいらない
- ・科学的根拠に基づいた最新の研究をもとにした教科書でないと高校入試にも大学入試にも使えない。まちかったことを覚えてしまう

構成・分量について

とにかくページ数も多いし、難しい内容が多い、文章ばかりで勉強ざらいになりそう。

標記・表現について

令和書籍は字は小さいし、白黒だし、どうしてこんな教科書が検定を通ったのかわからない

ご意見・ご感想

この3社の教科書は絶対に採用して欲しくない。

戦前の政治や社会のしくみがよかったように子どもたちに感じさせるような内容や写真はよくない。

※原則、原文そのままに記載しています。

96

教科（ 歴史、公民 ） 発行者（ 自由社 ）

内容について

Q8 に記載

構成・分量について

ちょうどよい

標記・表現について

良い

使用上の便宜について

良い

ご意見・ご感想

教育とは「日本人」を作り上げていくことだと思います。

欧米に自虐史観を植え付けられ、偏りのある歴史を教えられた我が国は自らの意志を示すこともできない芯のない国になってしまいました。

その点自由社の歴史と公民の教科書は

日本の伝統と国史を素直に受け入れ、自国に誇りをもつ事ができる優れた教材だと感じます。

優秀だが自らの頭で物事を捉えられない大人を量産したところで、彼らは大局を見ず私利私欲のために働くようになります。

大人の事情ではなく、将来の世代、未来の日本のためになる教科書が採択されることを願います。

97

教科（ 社会科 ） 発行者（ 帝国書院 ）

内容について

適切だと思う

構成・分量について

文字も大きく適切だと思う

標記・表現について

見やすいので適切だと思う

使用上の便宜について

※原則、原文そのままに記載しています。

適切だと思う

ご意見・ご感想

育鵬社や令和出版は中学生としてふさわしい内容なのか疑問に思った

98

教科（ 社会科 ） 発行者（ 令和書籍 ）

内容について

最も注目したのは 慰安婦の強制連行で朝日新聞や活動家によって日本人を国際的にも貶める世論が広まり 定着してしまったが 最終的に朝日新聞も誤報と認めた経緯までが正確に書かれている。

他の項目もできるだけ 背景を含め 分かりやすく記述していて中学生では十分理解できる範囲内と思った。

構成・分量について

地理歴史公民を分冊にしている教科書もあるが、これら3つは関連しているものなので分けずに一冊にまとめているほうが良いと思う。

使用上の便宜について

カラーで短い文章で表現している教科書が多い中、この教科書は本文はモノクロでモノクロの方が見やすく、また、文章量も他の教科書より多いようだが 多くの中学生が理解できる内容にまとまっている。

ご意見・ご感想

社会科の教科書の全てではなく、4冊くらい 比較した中では文章の読みやすさ、内容の濃さ、視聴の客観性が圧倒的であったので この教科書を採択して欲しい。

99

教科（ 新しい社会 ） 発行者（ 東京書籍 ）

内容について

幅広く内容が記載されていて驚いた

構成・分量について

見やすい

標記・表現について

カラー表記で見やすい

使用上の便宜について

重たいが、厚さそこまでないので、使い易い

ご意見・ご感想

全ページカラーで見やすい。興味をひく。

100

教科（新しい数学1） 発行者（東京書籍）

内容について

P30 加法について、図の表し方が分かりやすい。

P96 等式の性質についてまとめが分かりやすい

P98 例1の書き方がどのように変化してるか、分かりやすい

構成・分量について

分量は良い

標記・表現について

P101のように、イコールを合わせて表示すると見やすい。

方程式が楽しくなると思う。

ご意見・ご感想

P193 写真があることで、身のまわりにあるものの分類をイメージしやすいです。

全体的に見やすいと思います

p256 学びのベースがあると、まとめられてて、良い

101

教科（数学） 発行者（東京書籍）

ご意見・ご感想

生徒が学習を進めやすいよう、また興味を持てるよう工夫されていると感じます。

102

教科（数学） 発行者（井上直紀）

内容について

各出版社とも例年と概ね変わらず習得可能かと思います。

構成・分量について

例年と変わらない感じでよかったかと。

標記・表現について

東京書籍や啓林館の教科書はデジタル教材等と組み合わせて使うことができ、充実しているように感じました。

他の出版社は、デジタル教材の有無を除けば7出版社とも変わらないのかなぁと思います。

使用上の便宜について

使いやすさは変わらないかと思います。

103

教科（ 中学数学 ） 発行者（ 東京書籍 ）

内容について

前回とほぼ同じと感じた。

構成・分量について

特に無し。

標記・表現について

見やすいと思う。

使用上の便宜について

見やすいと思う。

ご意見・ご感想

教室で使うデジタル教科書において拡大表示すると元の図や表が見えなくなる場合があるので同一画面で見えるようになると使いやすい。

104

教科（ 理科の世界① ） 発行者（ 大日本図書 ）

内容について

植物の写真が多く使われていたり、花の写真の断面があったりして、見やすい

構成・分量について

分量については、良いです。

※原則、原文そのままに記載しています。

標記・表現について

実験の様子が、写真で掲載されていて良い。子ども達も、こちらの教科書は、分かりやすいのではないかと思います。

ご意見・ご感想

理科の教科書は、写真が多いほうが分かりやすいと思います。”まとめ”もあり、テスト勉強をしやすいです

105

教科（ 中学理科 2 ） 発行者（ 教育出版 ）

内容について

P142 要点と重要用語が、分かりやすくて良い。赤字のため、覚えやすい。絵も書いてあり、分かりやすい

構成・分量について

分量も良い

標記・表現について

P164 大切な部分に飽和水蒸気量というように赤字で、読み方も書かれているのはとても良い。中学生が覚えやすい。

ご意見・ご感想

単元の最後にある“要点と重要用語の整理”が分かりやすくとても良い。p142、p202、p278 など

106

教科（ 理科 ） 発行者（ 教育出版 ）

内容について

発展も大きくとりあげておりくわしく説明している。

構成・分量について

1 年は少なめの分量、3 年になると多い分量になっており発達に応じての内容になっている

標記・表現について

濃度計算がくわしい。中 3 の P214 のグラフの説明はくわしく書いている

使用上の便宜について

開いた時、パッと見でわかりやすく、とりかかりやすい。

※原則、原文そのままに記載しています。

ご意見・ご感想

理科の数本書は、やさしく、なおかつ内容が濃いものが大切だと思います
苦手な生徒から「マニア」まで深く学べるものだと良いと思いました。

107

教科（ 理科 ）

内容について

東京書籍:内容が整理されていて学びやすい。

教育出版、学校図書:まとまりに欠け、理科が苦手な子どもにとっては復習しにくい、扱いにくい。

構成・分量について

教育出版、学校図書:発展的内容が面白い、理科好きの子どもには好ましい。

東京書籍:理科が苦手な子どもにとって取り組みやすい構成となっている。

ご意見・ご感想

ノートのことを考えると、大日本図書の教科書はA4、B5 どちらのノート使用者にとっても扱いやすい、机やロッカーで整理整頓しやすい。内容は当然大切であるが、勉強を通してこの辺りのことも身につけさせたい。

108

教科（ 科学 ） 発行者（ 東京書籍 ）

内容について

孫がいるので今の特に科学の教育本を確認したいと考えました

構成・分量について

充分と、考えます。

標記・表現について

解りやすいと思いました。

使用上の便宜について

新しい科学1～3について十分な量と思います。

ご意見・ご感想

住民にも開かれた意見を聞いてもらえると嬉しいです

109

教科（ 音楽 ） 発行者（ 中学生の音楽 音楽のおくりもの ）

内容について

他の題材と比較できるように「比べてみよう」というコーナーがあるのが良い。音楽を学ぶ際に必要な能力が身につくと思いました。ふり返りやまとめがきちんと示されていて分かりやすい。

構成・分量について

上白石萌音さんの写真は何を伝えたいのか分かりません。

標記・表現について

教科書に直接書き込むことができる部分に、子どもたちが自主的に学習できる言葉が使われており、良い。

使用上の便宜について

教科書本体はどちらも同じように感じました。異なるのは内容です。

ご意見・ご感想

子どもが色覚に問題があるため、色味や文字を特に見てみました。
初めのページや目次の部分は恐らく音楽のおくりものでしか判別できません。
色覚の研究グループが決めた色味なのか、作成された会社が選んでいるのかは分かりませんが、中学生の音楽はさっぱり見分けが付かないと思います。
アイフォンやスマートフォンで色覚のチェックをしてほしいです。

110

教科（ 音楽 ） 発行者（ 教育芸術社 ）

ご意見・ご感想

教員採用試験を受ける予定で教科書を見に来ました。
音大に入ってから習ったような声学の内容が載っていて驚きました。
正直、専門性が中学生には高く、仮に来年教えるとなると不安です。

111

教科（ 音楽 ）

内容について

教育出版 歌唱の曲選択がよい、段階をふんでとり組めると感じる。
教芸 理論の充実が見られる。基礎を確認できる。

構成・分量について

教出、教芸共に適切である

標記・表現について

教出、教芸共に適切である

使用上の便宜について

教科書内にワークシートがあるので、それを元に授業ができると思う音楽用語記号ものっているので調べることもできる

ご意見・ご感想

器楽分野では写真も多く理解しやすいと思うただし曲数がもっとあればと思う。楽譜は副教材を使用することになるが教科書内にある曲を基本に授業展開していきたいと思う

1 1 2

教科（ 音楽 ） 発行者（ 教育芸術社 ）

内容について

全体的に、創り出す側でなく、

鑑賞したり、楽しむ心を養うのを目的とされているように感じました。

QR コードで映像教材を見ることができる構成は、現代にらしい方法だなと感じましたが、

諸刃の剣で、子供達の想像力を削ぎ落とし、お手本がないとできないという

負の影響もあるのではないかと気になります。

クラシック音楽の教育のみ受けられた方に多いのですが、

ポピュラー音楽の専門教育と照らし合わせると、間違っている記述があります。

『三和音』の項目で、

ギリシャ数字で、I から VII までを示す、

ディグリーでの解説がありますが、

ディグリー I～VII は、長音階をギリシャ数字に置き換えたものであり、

短調の三和音では、III, VI, VII は、

それぞれ、 \flat III, \flat VI, \flat VII となります。

また、ディグリー（数字）だけでなく、

I, IIm, IIIm, … VIIIm(\flat 5)のように、

ディグリー・コードとして記述するのが好ましいです。

次回、改善を求めます。

構成・分量について

Q.6 で回答します。

標記・表現について

他社（教育出版）の音楽教科書と比較すると、
文字と譜面の割合が多く、
大きな写真や図解を用いていても、
ただ配置しています。というだけで、
より感性に訴えかけるような説明文が少ないように感じました。
もともと、子供達に訴えかけていると思われるのが、現代よりな画風の表紙だという点にも、
違和感をおぼえました。

使用上の便宜について

上にも書いたように、
文字や譜面が、ただ書き記されている項目が多いように感じました。

ご意見・ご感想

わたくし、55歳で 都内 音楽専門学校の講師を務めております。

学生達が、中学生の頃に

どのような教育を受け、専門学校へと来ているのか、

大変 興味があり、教科書を拝見しております。

Q.4 への回答でも述べましたように、

こちらの教科書は、全体的に

音楽を創り出す側でなく、

鑑賞したり、楽しむ心を養うのを目的とされているように感じました。

『生活や社会の中の音や音楽』の項目で、

「音楽教育とSDGs」の記述がありますが、

音楽を含む芸術文化は、そもそも多様なものであり、

プラスチックだけが悪いと言い切れるものでもありません。

実際、木や象牙が悪いと、プラスチックなどの化学物質に置き換えられた経緯があります。

教科書には、いたずらに、SDGs への賛同を促すのでなく、自ら考える心を育むものであってほしいと、切に願います。

『国歌』の項目においても、

セレモニー・式典で使われる為の歌という印象を受ける記述でしたが、

その歌詞に含まれる意味や、

国家のもつ精神性にも、触れてほしいと思いました。

113

教科（音楽） 発行者（教育出版）

内容について

全体として、わたくしが想像する以上に、

※原則、原文そのままに記載しています。

素晴らしい教科書であると思いました。

(Q.8 への回答で詳しく記します。)

構成・分量について

指導される教員の方が、クラシック音楽を基本とした教育を受けて、教壇に立たれているので、

ある種、致し方ない部分ではあるのですが、

パソコンを活用した音楽作成や、

コードネームについての記述、その基となる音程についての解説については、

物足りなさを感じました。

標記・表現について

コードネーム表において、

表記とカタカナでの読み方と音符で説明されていますが、

英語表記での C Major 7th. や C minor 6th. も併記されているといいなと思いました。(特に、Cm6 シー・マイナー・シックス が、カタカナのみだと、違和感ありました。)

更には、コードを理解する基礎として、

音程 (Interval) 同音 (Unison) , 短2度 (minor 2nd.) . . . から、完全8度 (Octave) くらいまでを

解説する項目があっても良いかな… と思いました。

使用上の便宜について

大きな写真が掲載されているページや、楽譜、文字による解説のバランスが、とても良いと感じました。

ご意見・ご感想

わたくしは、現在 55 歳の

音楽専門学校 講師です。

指導する学生達が、どのような音楽教育を経て、専門学校へ来ているのか、

大変 興味があり、教科書を拝読いたしました。

全体として、わたくしが想像する以上に、

素晴らしい教科書であると思いました。

クラシック音楽と民謡・純邦楽、合唱曲、

はたまた、パソコンを活用した音楽制作や

コードネームについても、1 年生の教科書から

提示していること、

クラシック音楽や、ピアニストの方の記事で、その音楽が誕生する、創り手の内面にまで触れているのが、

大変 素晴らしいと思いました。

114

教科（ 中学生の音楽、中学生の器楽 ） 発行者（ 教育芸術社 ）

内容について

さまざまなジャンルの楽曲や楽器が記載されていて、幅広く学べると思います。

構成・分量について

教科書の量もちょうどいいと思います。

標記・表現について

カラーで見やすく、子どもも受け入れやすいと思います。

使用上の便宜について

教科書のサイズや色調や大きさもちょうど良いと思います。

ご意見・ご感想

中々教科書をゆっくり見る機会がなかったので、とても参考になりました。
ありがとうございました。

115

教科（ 美術 ） 発行者（ 日文、開隆、光村 ）

内容について

以前にくらべて、3社ともよく似ている、日本文教出版社の内容に開隆や光村が近づけた感じ
か見て取れる

構成・分量について

文科省に基づく内容や分量など3社とも問題がないだろうと考える

標記・表現について

文科省に基づく内容や分量など3社とも問題がないだろうと考える

使用上の便宜について

2冊編集（日文）と3冊編集（開隆、光村）の二種類あるが、内容や教科の重要性から三冊編集
の方が良い。

ご意見・ご感想

どの社も生徒の意欲が出るように、文章や図版が工夫されている。特に大版図版が入っている
ページはとても良い。卒業しても自分で一生持っていたいような美しいデザインや図版が多
い。

※原則、原文そのままに記載しています。

116

教科（ 美術 ） 発行者（ 日本文教 ）

内容について

表紙と裏表紙が繋がっており、大判の鑑賞教材になり生徒の関心を引くと思いました。3 学年分、3 冊あり、各学年の成長を見通した年間指導計画が立てられると思いました。

117

教科（ 中学校美術 ） 発行者（ 日本文教出版 ）

内容について

各学年で段階を踏みながら内容が高度になっていっているのがわかる。また画像が豊富で目を惹き、生徒の興味関心に沿った内容になっている。

体裁が整っており、全体を通して見やすく分かりやすい。

構成・分量について

幅広い分野に精通している印象を受け、構成・分量ともに程よい。

標記・表現について

図も分かりやすく、参考の資料として使いやすい。

使用上の便宜について

教科書のサイズはやはり少し大きいように感じる。文字や色調に関しては申し分ない。

ご意見・ご感想

各教科書どれも使ってみたいと思う部分が要所要所に見受けられた。

118

教科（ 保健体育 ） 発行者（ 大修館書店 ）

内容について

特に「心身の発達と心の健康」の中で、性について多様にとりあげているのがよかった。

一方(大日本図書)の(保健体育)は、特に性についておざなりすぎるように思った。

119

教科（ 保健体育 ）

ご意見・ご感想

「廃棄物の処理」のところだけ見ました。

東京書籍・大日本図書、大修館の中では、「東京書籍」がくわしく扱っているように思います。週に3回(可燃ゴミ)とリサイクル週1回不燃ゴミ(月2回)の出し方をみていると、中学生のときに保体の教科書をより突っこんで扱ってほしいと思います。

4月からプラスチックもリサイクルに移行したはずですが、まだまだです板橋区としてのPRがもっと必要かと思います。

保健体育の先生に「ゴミの処理」にももっと関心をもってほしいと思います。

120

教科（ 保健体育 小学3・4年 ） 発行者（ 光文書院 ）

内容について

33 ページ 性についてのなやみ

という項目で「体の性と心の性が違う気がする」という部分に添えられた子供の絵に「女らしい、男らしいって話はなんだか苦手だな」という吹き出しがついています。

女らしさ、男らしさへの嫌悪感や苦手意識は思春期の子供たちが当たり前に感じるもので有り、それを性別違和と結びつけるような記載はやめるべきだと思います。

女の子は自分の体が大人の女性になっていくことに対する不安や、男の子は男同士の人間関係の荒っぽさに馴染めない子供が出てくる時期で有り、その多感な時期に教科書で安易に性別違和を連想させるようなことはするべきではない。

ご意見・ご感想

性の多様性に関する項目については先進諸国で数々の問題を引き起こしている。

特に性自認については教育による誘導がアメリカやカナダ、イギリスで実際に確認されている。

「こういう子もいる」という教育は必要だが、「自分の心が男寄りか女寄りか」などとグラフに印をつけるような教育（埼玉県久喜市が実際に行った）はするべきではない。子供が自分の性別を疑うことなく生きる権利を奪ってはならない。

121

教科（ 保健体育 ） 発行者（ 学研 ）

内容について

情報が充実しているため、知識習得できると感じた。

構成・分量について

三年間で学ぶとはいえ3年生の内容がまだ多いように感じた。

標記・表現について

小学校社会の資料集のように情報が満載だと感じた。

使用上の便宜について

小学校でも資料集は買わずに PC でデータを探しているため、デジタル化して情報を軽くしてもいいのではないかと感じた。全教科の教科書を持ち運ぶには大変。

ご意見・ご感想

小学校で体育を研究していたため、今回見させていただいたが 7 年生の児童には情報の探しやすさを重視した紙面にした方が良いと感じた。

1 2 2

教科（ 技術家庭 ）

ご意見・ご感想

技術分野でのソフトウェアについて具体的なプログラミング言語の使用・構成を学習してもよいのではないのでしょうか(簡易言語ではなく PYTHON、C++ など実用に耐える言語を使用して良いと思います)

1 2 3

教科（ 技術分野 ） 発行者（ 開隆堂 ）

内容について

良く表現されてわかりやすい

構成・分量について

適当

標記・表現について

わかりやすい

使用上の便宜について

特にありません

ご意見・ご感想

遠い昔の半世紀前の教科書と比べて内容が充実しており、現代を生きる若者の支えになると思います

1 2 4

教科（ 技術 ） 発行者（ 閉隆堂 ）

内容について

写真、解説が多く、よい

構成・分量について

300 ページ近くボリュームがある

標記・表現について

情報技術について平易な表現となっている

使用上の便宜について

大版で見やすい

ご意見・ご感想

近年の数科書は工夫され、進化を感じた

1 2 5

教科（ 家庭 ） 発行者（ 教育図書 ）

内容について

衣食住に加え、消費生活・環境についての項目がプラスされていて消費生活のトラブルについて学べるのはとても良いと思いました。

構成・分量について

分量がかなり多いと感じました。どの位学び切れるのか少々不安になる位…。効率良く学習できれば良いと思いました。

標記・表現について

むずかしい表現をせず分かりやすく書かれていて、学びやすいと思いました。絵や図解がふんだんに使用されて興味を引くものがありました。

ご意見・ご感想

自分達が当時学んでいた頃とは数段に物事の多様性が進んでいると感じました。

興味を引くもの、気をつけなければならない事が分かりやすく書かれていると思います。

「自分達の子供の頃にあったらなあ〜。」と現在の子供達が大変うらやましくなります。

1 2 6

教科（ 家庭 ） 発行者（ 開隆堂 ）

※原則、原文そのままに記載しています。

ご意見・ご感想

家庭分野の他社さんの教科書も拝読しましたが、自分の社会における役割や家族・周りとの関わり方だけでなく、自分自身を愛すること、自己肯定感、自分らしい生き方や考え方を大事にすること、といった内省にもふみこむページがみうけられたのはこの教科書だけでした。自分自身が中学生のときに読んでおきたかったと涙が出ました。ひとりでも多くの子が自分らしい生き方を自分の意志で選べますように。

127

教科（ 家庭科 技術 ） 発行者（ 教育図書 ）

内容について

写真、イラストが多く、子どもが学者しやすそう。

構成・分量について

少なすぎず、多すぎず、丁度良い。

標記・表現について

見やすい。文字が大きく、はっきりしている。

使用上の便宜について

色使いが見やすい。

ご意見・ご感想

親としては分かりやすく、見やすい教科書が良い。教育図書が良かった。

128

教科（ ONE WORLD English Course 1 ） 発行者（ 教育出版 ）

内容について

とても分かりやすい。P30 日本語と英語の語順など P31 動作や行動を表す動詞も例があり、良い

構成・分量について

分量は良い

標記・表現について

書き方が分かりやすい

単語が、重要なものは、右すみに書いてあり、勉強しやすい。

ご意見・ご感想

p43 代名詞の表も良い。

全体的に分かりやすい。

p85 変化する時に、大切な単語を赤字でかこってあり分かりやすい

129

教科（ English ）

内容について

私が中学で習ったのは new-Horison でしたので馴れている事もあって親しみがありませんでした

ご意見・ご感想

現在、夏休み、冬休み…等の時に、中学3年迄、自宅で教えています。

new Horison は昔から構成が似ていて私には、教えやすいと思いました。

130

教科（ 英語 ） 発行者（ 東京書籍 ）

内容について

まずまずです。

標記・表現について

英語の音と文字(フォニックス)(基本的な発音の仕方)(発音記号の読み方)が教室内で十分に練習されると良いと思います。

ご意見・ご感想

各所に工夫があつて良いと思います。

131

教科（ 英語 ） 発行者（ 開隆堂 ）

内容について

文字だけでなく絵もたくさん使われていて分かりやすいと思う。

ご意見・ご感想

現在は小学校から英語を学ぶので、昔とは違うのは分かっていたけど、こんなに一歩上のレベルの英語を中学生は習っているのかと驚きました。

132

教科（ 英語 1 年 ） 発行者（ 開隆堂 ）

内容について

わかりやすい(まんが、イラスト、写真が効果的)

構成・分量について

1 年生ならこれで十分だと思う。

シーンを見やすい、「まんが」を使い説明→そこから話をふくらませ、→「早わかり」コーナーで文法についても教えている

標記・表現について

かたいゴシック体でなく、内の会話分は少し手書きのかんじがする字体なのも好ましい。

使用上の便宜について

このサイズは、他の教科書に比べて少し大きいのでは？それとも、見やすさ、学びやすさを考えると、仕方ないのか？

ご意見・ご感想

私が初めて習った 60 年（中学 1 年生）前は、それはそれはもっと画一的な、文法中心の「英語」の教科書だったが、先生がとてもよい先生で、英語の歌(my ボニー is over the ocean)をふりをつけて、一緒に歌ってくれたので一ぺんに英語の授業が身近になった。この教科書は日本の手活と、海外の生活のちがいを楽しく、興味を持たせるいい内容をピックアップしてると思った。

133

教科（ 英語 ）

内容について

会話形式で非常によい

構成・分量について

多い

標記・表現について

良い

ご意見・ご感想

どの教科書も会話形式でイラストもあり楽しく学べそうだが、果たして会話文を日本で使う場面があるのだろうか？

文法、読解力が軽視されているから英検 3 級、準 2 級が中 3 生でも合格しない

134

教科（ 英語 ） 発行者（ 三省堂 ）

内容について

“受け身”な内容ではなく、考えさせる様な感じにもなっているので、身につけやすいと思います。

ただ、「ペアでやってみましょう」は、ペアが出来ない場合、かわいそうです。

構成・分量について

最後の方が資料になっているので、分量としては、“勉強”の要素が少なくなるのかと心配ですが、教員の工夫次第でカバーできそうにも思えます。

標記・表現について

漢字のふりがなが中途半端なのが気になります。

例として→“帽子”や“施設”のふりがなが、“ぼうし”ではなく“ぼう”、“しせつ”ではなく“し”になっています。

使用上の便宜について

最後の方の資料が、簡易的な辞書になっている様に見受けられるので、ある程度は良いと思います。

ご意見・ご感想

“構成・分量について”と“使用上の便宜について”が、メリットとデメリットの共存だと感じました。

全体的にはカラフルでわかりやすく楽しんで勉強ができそうです。

135

教科（ 英語 ） 発行者（ 全て ）

内容について

教科書を見る限りではエクササイズが少ないため、語学として身につけるには各学校の担当の教師がどれだけ質の良い宿題を作成できるかにかかってくると思います。

構成・分量について

昔と比べてあまり読み書き文法ベースではないと見受けますが、基礎が少々疎かになっているということはないでしょうか。教科書に出ている英文のレベルは上がっていますが、今の 10 代が英会話力がとても上がっているという印象は受けず、逆に読解力は落ちているという話も聞きます。

※原則、原文そのままに記載しています。

ご意見・ご感想

ところどころ、リベラリズムやポリコレの押し付けを感じます。世界に目を向けるのは良いですが、せっかくですから英語で自国の良いところをもっと説明できるようなコンテンツ作りがされていると良いと思います。

136

教科（ 英語 ） 発行者（ 三省堂 ）

内容について

文法が分かりやすい。

標記・表現について

現在完了形なイラストがいかされていて説明が分かりやすい

137

教科（ 道徳 ）

内容について

いじめ防止を目的として教科化されたとは聞いているが、かつていじめられた経験をもつ身としては、あからさまに“いじめ防止”が目につく構成はかえって困る。よりいじめられそうな気がする。なのでGakkenがいちばん配慮されていると思いました。

構成・分量について

との社も似たような印象です。

標記・表現について

→Gakken か光村がいいなと感じました。表紙やイラストなども、学習意欲が湧くか想像力が湧くかに大きく関係するので大切な要素です。道徳教科書で一番あり得ないのは日本教科書です。私が生徒ならこれで学びたくないです。

使用上の便宜について

日本文教出版は別冊でノートがありますが、ノートの必要性がよく分かりません。ノートの中にもテーマがはっきり書いてあるので、決まりきった優等生の答えばかり集まって、自由な考えを阻外する気がします。

ご意見・ご感想

どの教科もQRを読み込むと見られるコンテンツがついていて面白そうです。ただ、あまりたくさんあるとそれを読みこんで見る生徒がたくさんいていざ授業のときに、先生の話をきちんと

聞こうとしない学級も出てくるかもしれないと感じました。塾講師や非常勤講師の経験上、あまりたくさんものを初めから生徒に提供するのとはかえって集中力がとぎれるかもしれないと思います。

138

教科（ 道徳「新しい道徳」 ） 発行者（ 東京書籍 ）

内容について

現代社会で最大の課題であるいじめ問題や、ネット社会の課題などを意欲的にとり上げているのはよい。ただなぜそうした問題がおきてしまうのか、学校と生徒間のことだけに「切りとられ」ているのは残念。いじめは、現代の日本社会の病理がおこしている問題であり、社会における事件や、家庭を営む大人がかかえていることまでふみこまないと解決はできないだろう。

標記・表現について

読みものとしては興味深いものが選ばれていると思う

使用上の便宜について

話し合う道徳の実践として、議論する場がとり上げられているのはよい。ただ、ほんとうに子どもの苦しみ本音から出る意見ばかりにはみえない。ほんとうに魂をゆさぶるような苦しみを理解して文を作成しないと子どもの心をゆさぶることはできないだろう。

ご意見・ご感想

基本的に特設された道徳だけで子どもの心を育てるのは困難であるから、読みものとして質の高いものを吟味してとり入れてほしい。ほんとうの感動は言葉は出ないほど心を打つものだ。アフガニスタンの中村哲医師の話のように。

139

教科（ 道徳 ） 発行者（ 日本教科書 ）

内容について

心がけ主義が強い。道徳が心がけ主義になってしまうと修心と同じになる。科学的に思考し判断する力をいかに養うか。そこを大切にしたい教科書を選んでほしい。

巻末にある「ウェルビーイングカード」はどのように使用されるのだろうか。「心がけ主義」の道徳を文字で学び、行動でも「心がけ主義」を強いるこのカードを使わされる生徒は「自分の本音」が何処にあるのかわからなくなるだろう。自己の内容と真面目に向き合い、考え、行動する力をつけることが、道徳では必要なことだ。「心がけ主義」を強いるものは使わせたくない。〈東京書籍〉巻末にある「自分の学びをふり返ろう」このページは無駄ではないか。これを毎時間記入させることに意味があるのだろうか。内面化されるだろうか。結果は全く逆である。中学生ともなればどう書けば教師に評価されるか、十分に知っている。「たてまえ」を書くことを強いるだけであろう。

※原則、原文そのままに記載しています。

140

教科（ 道徳 ） 発行者（ あかつき ）

内容について

◎1年、羽生結弦の話、あまりにも簡単に書かれてい過ぎる。王者となる苦しみ、悩み事こそ、中学生に読み、考えさせたい内容だ。深まりがない。中学1年でも軽すぎ適切ではない。

◎MyPIUS、「いじめについて話し合ってみよう」仲間と話し合うのは、現実のいじめ問題ではない。場面設定場のいじめである。果して話し合う価値があるのだろうか。全体的に見ても、現実離れした話が多い。子ども達にも実際に起きた場面でのことを考えさせ、話し合わせたい。

こういう仮設の話は立て前論者を育てるだけで、適切ではない、

○巻末に付けてある「学習の記録」（三学年共にある）子どもにとって、どこに○印をつければよいか分かっている。立て前で自己評価をさせるのは意味があるのか疑問だ。

（学研 GAKKen）中3、「〇〇流デジタルライフ」子ども達と本音のところで深めたい内容だ。

「2人の弟子」深い内容だ。中3で、この本当の意味・上人の思いを受け止めるのは困難かもしれない。しかし、いじめのはびこる現実があるからこそ、この思いを子ども達の話し合いで深め、理解させたい。価値ある教材だと思う。

141

教科（ 特別の教科道徳 ）

内容について

道徳が教科化されたのは、いじめ防止も一つの大きな目的だと聞いてます。それゆえに、いじめ防止、という言葉が目次などではっきり目立つように記載されている会社が多いのが気になりました、

私は小学生の頃、いじめられていた側です。いじめられている側からしたらとても嫌な気になります。いじている側は多分その気がないから気にもならないでしょうが、とても嫌な気分です。

いじめとはっきり表現せずとも、いじめ防止のための心は養えるはずです。

そういった意味では、Gakken の道徳教科書が一番配慮されていると感じました。

教科書を採択される方々には、ぜひ当事者の気持ちをよく汲み取ったうえで採択していただきたいです。

構成・分量について

どの社も似たような量だと感じました。

標記・表現について

表紙やイラストも大事な表現だと思います。子供達の情操に大きく関わります。そういう視点では、日本教科書はもっとも学びたくない教科書です。

イラストや表紙では、光村か Gakken が良いと思います。

※原則、原文そのままに記載しています。

使用上の便宜について

日本文教出版は、ノートが別冊でついてますが、ノートをつける意味がわかりません。しかも、ノートにテーマがはっきり記されていて、この時点で優等生の答えを書けと言われているようで、思考を限定されそうな印象を持ちました。

ご意見・ご感想

QRコードでさまざまなものが見られてどの教科書もずいぶん様変わりした印象です。

塾講師や非常勤講師を勤めた経験上、生徒に情報を最初に与えすぎると、授業をする上で集中が途切れてしまうことがありました。このQRコードで見られる工夫もありすぎると、かえって邪魔になりかねないし、実際の授業で使いこなせないと思います。たくさんあればいい、という安易な発想で採択されると、現場の先生が困ると思うので、ほどほどの量のものを採択されたほうが良いと思います。

また、私が教科書展示会会場に行ったとき、特定の教科、理系と保体？の教科書をタブレットでほぼ全頁撮影されていた2人の男性がいました。

閲覧の注意には、全頁撮影はダメとあったと思います。注意されてませんでしたが、問題行動ではないでしょうか。

立ち合いの方によく見張るようにいふべきだと感じました。

142

教科（ 中学道徳 ） 発行者（ Gakken ）

内容について

「割り当てられた性」などという言葉を使うべきでは無い

性別は医師が割り当てているものでは無い

思春期の子供に子供に「間違った性別で生まれたのかもしれない」などと思わせるような教育はすべきでは無い

ご意見・ご感想

この教科書を採用しなかった選定委員に感謝したいくらいだ

LGBT は思想的な意味合いが強くなり、当事者の声からかけ離れていつている

子供達への教育には細心の注意をお願いしたい

143

教科（ 美術、音楽 ）

ご意見・ご感想

いつも新しい教科書を拝見するのを楽しみにしています。特に子どもの頃だった音楽や美術の教科書にはワクワクさせられます。いずれの会社も写真や絵がカラーでとても美しく、折り込みページなど工夫があり頭が下がります。

※原則、原文そのままに記載しています。

日本文教出版の美術”屏風、美のしかけ”には驚きました。閉くて“唐獅子”の大きく掲載されていて圧感です。光村図書の美術、”日本の絵画を楽しむ5つのキーワード”もあえて紙を変えて日本の伝統文化に親近感をわかせるようとしているんでしょうね。

少し怖い資料もありましたが、なかなか面白い取り組みだと思いました。

音楽ですが、2社共“勸進帳”まで良い写真が扱われているなと思いました。教育芸術社の2・3上60ページにはがっかりしました。“刺青”が扱われています。日本の伝統文化といえ、そうなのでしょうけど、中学生にはなるべく見せたくありません。

特に授業で扱う方で問題外です。子どもたちが懂れたらどうするのか?配慮に欠けると思います。残念です

144

教科（ 歴史、道徳、英語 ）

内容について

時代の区分で1番長い縄文時代はなぜいつも短いのか不思議に思います。

弥生時代より長くて昔で、でも土器などは弥生時代より多く残っているという事は、かなり発達した時代だからではないのでしょうか?

道徳 東京書せきのみしか見る時間はありませんでしたが、住みよい社会がカメラをつけることなのですか?人と人とのつながりを持てるように、犯罪をしなくても生きていける社会にするようにするのが、道徳として教えることなのではないのでしょうか?カメラ説置したい政府のやり方に疑問です。

ご意見・ご感想

英語は子ども達が海外に行っても使えるように、文法だけではなくリスニングとスピーキングができるようにしてほしい。

昨年からはまった高校受験のリスニングとスピーキングの効果測定をしましたか?学んでも社会に出てから使えない数学・英語の授業はやめて、選択制で学びたい文野の数学や英語で社会に出て活用できる教育をお願いしたい。

145

内容について

見やすく、読みやすいです

ご意見・ご感想

わたしは、昭和の時代に中学生でしたが、現在の教科書を見ると、全然違っており、もう一度勉強を、やり直したいと思う内容です。

今の時代に合った内容になっていると思います。

1 4 6

内容について

平成の時に比べると分量が多くなった気がしました。

構成・分量について

社会…帝国がカラーが多くみやすかった

標記・表現について

国語…光村がイラストがあってていこうがなかった。

ご意見・ご感想

私は区内在住小1の母ですが、

なるべく私立・国立中が使用する出版社の教科書を使用してほしいと思います。実際は先生の教え方によりますが近隣の区などなるべく皆が使う会社の教科書にしてほしいと思います。

小学校は他区(私立・国立含む)とちがう会社の教科書が多い。

1 4 7

教科（ 全社 ） 発行者（ 全社 ）

標記・表現について

QRコードが多すぎても教える先生方が内容を把握しておかねばならないので、多ければよいというものではないと思います。

ご意見・ご感想

区として小中一貫教育に力を入れているようですが、教科書の選定にも、影響があるのでしょうか?小学校で使用している教科書とこれから選ばれる中学校の教科書の関連が気になります。

1 4 8

内容について

ほぼどの教科も昔よりずうと楽しく学べる教書がない様に感じました。

構成・分量について

どの教科書も大版になり、見易くはなっていると思います。カリキュラムに於ける内容はこの位が良いのかなとも思います

標記・表現について

違いが何の教科でも豊富になっていて興味を引く様な表現方法がなされていると思います

使用上の便宜について

どの教科も子供に取ってより分りやすく、勉強し易い体制に作られた本であった様な気がします
すどの本と選定するのは難しいですネ

ご意見・ご感想

高齢者としては孫がこれから学ぶ教科書どんな内容なのだろうと興味を持って読みました。押しつけではなく自分からその内容に入り勉強の面白さを知って欲しいと思いました。
又、個人としてはもう一度教科書に則って勉強してみたいなどの気持ちに駆られました

149

内容について

- ・(国語/光村図書)語彙ブックが充実していてとてもよいと思った。まず言葉を知りストックしておくことで、ふとした瞬間に自分のあやふやな感覚と結びつくことがあると思う。似たような言葉でも印象が違ったりすることに気づいてほしい。
- ・(音楽/教育芸術社)各冊初めの2見開きがこれから音楽を学ぶ子どもたちに響く内容になっていると思った。歌や楽器の演奏が苦手だと思っている子にも、音楽ってなんだろうのページは是非読んでほしい。また、音楽の学びを振り返ろうのページでは、1年の学びを踏まえたうえで自分が好きな曲を紹介してもよいような内容になっていて興味が持てるのでは。

標記・表現について

- ・(美術/光村図書)やや説明的すぎる感じがした。作品そのものを味わうよりも前に言葉に引っ張られてしまうともったいない。

使用上の便宜について

- ・(美術/日本文教出版)3冊が同じくらいの分量になっていて使いやすいのではないかな。西洋、日本、現代美術の作品がそれぞれ表紙になっているのもバランスがよい。

150

教科(国語、体育、家庭科、歴史) 発行者(東京書籍、教育出版、光村図書、教育図書、帝国書院など)

標記・表現について

最近自民党が無理やり通した LGBT 法をそれぞれの教科に掲載させなければいけない社会にされ

※原則、原文そのままに記載しています。

ていることを感じました。

本来人間は男か女のみ。あとは趣味趣向で性ではありません。

もっと外圧（海外でも大きな議論になっていますが）に負けず日本らしい内容になる事を祈るばかりです。

また意外にも偏向報道をしている池上彰が新しい国語の中で「ニュースの内容が正しいのか疑問を持て」と、書いていたのが大変驚きました。本人も罪滅ぼしなのかも知れません。最近是人々もテレビを観なくなってきたのが、せめてもの救いです。

使用上の便宜について

カラーで絵が多いのは、スマホやパソコンを使うため活字離れした世代への配慮かな、と感じました。

ご意見・ご感想

歴史は日本らしい歴史、というより、塗り替えられた歴史を表現されているのが、大変悲しいです。日本は朝鮮半島でもアジア大陸でも、皆さんを守るために戦った賛美されるべき国ですが、敗戦後歴史は塗り替えられ、日本は悪い国とPRさせられ、日本に生まれたことがまるで良くないような印象も受けます。

是非これからは、御用学者ではなく、本当の歴史を語り継ぐ方々いらっしゃいますので、圧力に負けず誇りが持てる内容に戻されますことを心より願うばかりです。

151

教科（特に道徳と保健体育）

ご意見・ご感想

わたしは地域住民です。

今回の教科書から、保健体育や道徳を中心に英語や社会でも4つの性やSOGIについて掲載されている。

それについて採択後の内容の取り扱いには十分注意してほしいです。

理由は以下の通り。

例えば、大修館書店の保健体育P42には【人間の性は単純に「男性」と「女性」で分けられるものではありません】とあります。

教科書を読んだ生徒はどう認識するのでしょうか？

「性別は性自認で決まる」と思い込む生徒が出るかもしれない。思春期は揺れ動き異常な状態であることが正常です。

身体が男らしく女らしくそれぞれに大きく変わっていく中で、身体の変化に精神が付いていけないこともあるでしょう。様々なことに思い悩むこともあるでしょう。

そんな時に「性別を自分で選択できる」と教科書にあったら、それに縋りつくことで解決できると思ってしまう生徒が出てくるのではないのでしょうか？

それはむしろ必要以上に生徒を苦しめることになるのではないのでしょうか？

人間の性別は男と女の2つです。

※原則、原文そのままに記載しています。

性自認は尊重すべきですが、性別とジェンダー（社会的役割）を混同させないようにお願いします。

152

教科（ 国語、道徳、英語 ） 発行者（ 東京書籍、光村出版など ）

構成・分量について

学習の目標などの解説ページがよかった

標記・表現について

表紙や本文挿絵のイラストがアニメや漫画風で、時代が変わったなーと感じます

使用上の便宜について

国語は自分が使っていた時代より分厚くて重い気がする。こんなに思いと毎日持ち帰るのが大変そう

ご意見・ご感想

国語や道徳でちゃんと人権や人種差別にさを取り上げているので良かった。人権教育はもっとガッツリやってほしい。

153

使用上の便宜について

全体的に見やすかった

ご意見・ご感想

パソコンも毎日持ち、何教科も教科書とノートなどを持って行くとすごく重たいので、もう少し軽くなるといいなと思いました

154

教科（ 社会科、技術科 ） 発行者（ 令和書籍、教育図書 ）

内容について

写真の出典がウィキメディアコモンズばかりなのが気になった。
プログラミングなど、非常に高度な教育内容なのが気になった。

構成・分量について

特に問題ない

※原則、原文そのままに記載しています。

標記・表現について

非常に分かりやすい。

使用上の便宜について

令和書籍の教科書は A5 で小さいと感じた。

ご意見・ご感想

私が中学生だった頃と比較して、内容が非常に高度になっていると感じた。